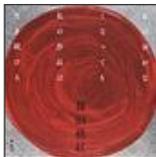


## 2024年1月新聞書評に掲載された本



### 私の体がなくなっても私の作品は生き続ける

篠田 桃紅 著

講談社

心に宿るもの、心にぎざすもの、思い、それを「可視のもの」にしたい、「かたち」を創りたい。107歳で世を去った世界的美術家の、未公開作品と生前録音された肉声による最後の画文集。

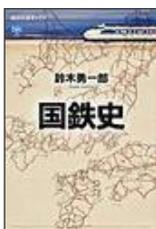
産経新聞 2024/01/07

2023:12./ 109p  
978-4-06-534172-8

¥1,650 [税込]



9 784065 341728



### 国鉄史(講談社選書メチエ 792)

鈴木 勇一郎 著

講談社

日本史上最大の組織「国鉄」はいかに作られたか。近代化に邁進する明治政府が新橋・横浜間を開設してから、昭和末期に日本国有鉄道が分割民営化されるまで、「鉄道と国家」の歴史を一望する。

産経新聞 2024/01/07

2023:12./ 272p  
978-4-06-534196-4

¥2,035 [税込]



9 784065 341964



### 山県有朋~明治国家と権力~(中公新書 2777)

小林道彦 著

中央公論新社

陸軍卿・内相として徴兵制・地方自治制を導入し、枢密院議長を務め、長州閥陸軍や山県系官僚を背景に、最有力の元老として長期にわたり日本政治を動かした山県有朋。その生涯を通して、興隆する近代日本の光と影を描く。

産経新聞 2024/01/07

2023:11./ 7p,300p  
978-4-12-102777-1

¥1,056 [税込]



9 784121 027771

- ご注文の際には、タイトル・出版社名・価格のほか、ISBN も併せてお知らせください。
- 原価の改定、為替相場の変動などの理由により価格を変更する場合がございます。予めご了承の程お願い申し上げます。
- ご注文、ご照会は弊社本・支店・営業部(課)までお申し付けください。
- 表示価格は2024年1月時点での税込み価格です。



**n番部屋を燃やし尽くせ〜デジタル性犯罪を追跡した「わたしたち」の記録〜**

追跡団火花 著  
光文社

2020年3月、韓国社会を震撼させたデジタル性犯罪「n番部屋事件」。その実態を暴いた2人の大学生による「n番部屋」追跡の9カ月、事件前後の2人のライフストーリーやデジタル性犯罪の実態を記した記録。

産経新聞 2024/01/07

2023:10./ 353p  
978-4-334-96264-7

¥2,640〔税込〕



**小麦の地政学〜世界を動かす戦略物資〜**

セバスティアン・アビス 著  
原書房

世界の食料安全保障の要ともいえる「小麦」は、世界中で消費量が増え続けているうちに、輸出国は限られている。国際戦略の専門家が、世界の主要生産国間の力関係、大量輸入に頼る国々の脆弱さを明らかにする。

産経新聞 2024/01/07

2023:12./ 280p  
978-4-562-07383-2

¥2,970〔税込〕



**日本の会社員はなぜ「やる気」を失ったのか(平凡社新書 1044)**

渋谷 和宏 著  
平凡社

1990年代半ば以降、市場や技術動向の激変に対応できず、競争力を失った日本企業。その凋落の一因に、会社員の「やる気」の無さがある。日本の会社員が「やる気」を失った原因は何か。原因を詳細に検証する。

産経新聞 2024/01/07

2023:11./ 180p  
978-4-582-86044-3

¥1,045〔税込〕



**案山子の村の殺人(ミステリ・フロンティア 118)**

楠谷 佑 著  
東京創元社

案山子だらけの宵待村で、案山子に毒の矢が射込まれ、別の案山子が消失し、ついに殺人事件が勃発する。現場はいわゆる雪の密室の様相を呈していた。合作推理作家の大学生コンビが謎に挑むシリーズ第1弾。

産経新聞 2024/01/07、読売新聞 2024/01/14

2023:11./ 403p  
978-4-488-02023-1

¥1,980〔税込〕



**父がしたこと**

青山 文平 著  
KADOKAWA

秘密裡に告げられた藩主の病状。失敗の許されない手術を引き受けた医師は、目付の永井重彰にとって息子・拡の命の恩人でもあった。武士が護るべきは、主君か、家族か。胸に迫る医療時代小説。『小説野性時代』連載を書籍化。

産経新聞 2024/01/14

2023:12./ 250p  
978-4-04-114016-1

¥1,980〔税込〕





## 近代日本メディア議員列伝<2> 降旗元太郎の理想

井上 義和 著

創元社

明治から戦後にかけて<政治のメディア化>を体現したメディア議員を深掘りする。2は、『信濃日報』社長の傍ら大隈系代議士として普通選挙実現に尽力した降旗元太郎の知られざる生涯と激動の時代を丹念に描く。

産経新聞 2024/01/14

2023:11./ 359p  
978-4-422-30102-0

¥2,970〔税込〕



## 創元 SF 文庫総解説～創元 SF 文庫～

東京創元社編集部 編

東京創元社

1963年9月に創刊した日本最古の現存する文庫SFレーベル「創元SF文庫」の60周年記念公式ガイドブック。800冊近い刊行物全点の書誌情報&レビュー、対談、創元SF文庫史概説、エッセイを収録。ファン必携の一冊。

産経新聞 2024/01/14

2023:12./ 304p  
978-4-488-00399-9

¥2,420〔税込〕



## 香子～紫式部物語～<1>

帚木 蓬生 著

PHP研究所

父や祖母の薫陶を受けて育った香子(紫式部)は、夫との短い結婚生活、家族とともに向かった越前での暮らしの中で、まったく新しい物語を紡いでいく。香子の人生とともに、「源氏物語」桐壺～未摘花の帖も描き出す。

産経新聞 2024/01/14

2023:12./ 461p  
978-4-569-85451-9

¥2,530〔税込〕



## 魔法少女はなぜ世界を救えなかったのか?

ベク・ソルフィ/ホン・スミン 著

晶文社

魔法戦士に変身して戦う姿は少女に自信を与えるのか、それともミニスカートにハイヒール姿の性役割を植えつけるのか? 少女文化コンテンツがもつ二面性への問いを発端とし、その始まりから変遷に至るまで多角的に考察する。

産経新聞 2024/01/14

2023:11./ 189p  
978-4-7949-7394-8

¥1,980〔税込〕



## 世帯年収1000万円～「勝ち組」家庭の残酷な真実～(新潮新書 1020)

加藤 梨里 著

新潮社

裕福とイメージされがちな年収1000万円の子育て世帯に焦点を当て、経済力の変化、子育てにかかるコスト、公的補助の有無による家計への影響等をふまえて、その暮らしぶりを繙くとともに、お金の対策を紹介する。

産経新聞 2024/01/21

2023:11./ 214p  
978-4-10-611020-7

¥880〔税込〕





### 神様は返事を書かない～スポーツノンフィクション傑作選～(Sports Graphic Number Books)

阿部 珠樹 著

文藝春秋

全米を席卷したトルネードの記憶、強すぎて憎まれた横綱…。観客席からあらゆるスポーツを見つめ続けたスポーツライターが遺した珠玉の42編。『Number』『優駿』掲載のスポーツノンフィクションを厳選収録。

産経新聞 2024/01/21

2023:11./ 621p  
978-4-16-391783-2

¥2,530〔税込〕



9 784163 917832



### 話す力～心をつかむ44のヒント～(文春新書 1435)

阿川 佐和子 著

文藝春秋

初対面の時の会話から、認知症の親の介護や家庭円満の秘訣、会議や会食まで。インタビューを30年以上続けているアガワが、日本人だからこその会話の妙や楽しみ方を、エピソードとともに伝授する。アガワ流「話す極意」。

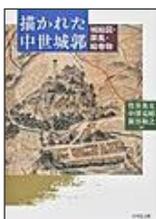
産経新聞 2024/01/21

2023:12./ 253p  
978-4-16-661435-6

¥990〔税込〕



9 784166 614356



### 描かれた中世城郭～城絵図・屏風・絵巻物～

竹井 英文／中澤 克昭／新谷 和之 編

吉川弘文館

寺社縁起や物語などの絵巻物、洛中洛外図屏風、陣取図など、城郭が描かれた絵画史料を可能な限り集成。迫力あるカラー図版に平易な解説を加えながら、鎌倉～織豊期の城郭の姿を浮かび上がらせる。

産経新聞 2024/01/21

2023:11./ 5p,135p  
978-4-642-08439-0

¥3,080〔税込〕



9 784642 084390



### 慰安婦性奴隷説をハーバード大学ラムザイヤー教授が完全論破～娼婦・慰安婦は年季奉公契約をしていた～

マーク・ラムザイヤー 著

ハート出版

慰安婦の理論的・実証的研究の金字塔。ハーバード大学ロースクールのラムザイヤー教授による、戦前の日本の娼婦の契約と、戦時下の慰安婦の契約に関する論文をまとめる。

産経新聞 2024/01/21

2023:12./ 415p  
978-4-8024-0172-2

¥1,980〔税込〕



9 784802 401722



### 化学の授業をはじめます。

ボニー・ガルマス 著

文藝春秋

1960年代アメリカ。才能ある化学者のエリザベスは未婚のシングルマザーになっとうえ失職してしまう。ひょんなことから得た仕事は料理番組の出演者。科学的に料理を説くエリザベスは意外にも視聴者の心をつかみ…。

産経新聞 2024/01/28

2024:1./ 535p  
978-4-16-391797-9

¥2,750〔税込〕



9 784163 917979



**奥州仁義(双葉文庫 三河雑兵心得 い-56-14 13)**

井原忠政 著  
双葉社

秀吉の命令で徳川家は関東に移封となり、家康に従い江戸に来た茂兵衛。その頃、陸奥国、南部家の家臣、九戸政実が秀吉の奥州仕置に異を唱え反旗を翻した。井伊直政の寄騎として出陣する茂兵衛は、家康に難題を押しつけられ...

産経新聞 2024/01/28

2023:12./ 276p  
978-4-575-67183-4

¥726 [税込]



**アメリカはなぜ安倍晋三を賞賛したのか**

古森義久 著  
産経新聞出版

中国系反日組織と NY タイムズの攻撃、靖国参拝「失望」からナショナリズムの歓迎へ。国際報道の第一人者で安倍晋三と長く交流した著者が、安倍を軸に米国の日本観を明らかにする。『正論』掲載の著者と安倍の対談の解説付き。

産経新聞 2024/01/28

2023:11./ 294p  
978-4-8191-1430-1

¥1,650 [税込]



**危機のいま古典をよむ**

與那覇 潤 著  
而立書房

人間にとってほんとうに大切なことは、かつて本気で思考した先人の書物に描かれている。再び訪れるだろう困難な時代を生きるための、希望の読書論。E.トッド、苅部直らとの「書物がつなぐ対話」も収録する。

産経新聞 2024/01/28

2023:11./ 238p  
978-4-88059-439-2

¥1,980 [税込]



**日没(岩波現代文庫 文芸 352)**

桐野 夏生 著  
岩波書店

小説家・マツ夢井に政府組織から召喚状が届き、彼女は断崖に建つ海辺の療養所へと収容される。「社会に適応した小説」を書けと命じられるが...。表現の不自由の近未来を描く、警世小説。

朝日新聞 2024/01/06

2023:10./ 377p  
978-4-00-602352-2

¥990 [税込]



**八つ墓村 改版(角川文庫)**

横溝 正史 著  
角川書店

鳥取と岡山の県境の村、かつて戦国の頃、三千両を携えた八人の武士がこの村に落ちのびた。欲に目が眩んだ村人たちは八人を惨殺。以来この村は八つ墓村と呼ばれ、怪異があいついだ.....。

朝日新聞 2024/01/06

1996:1./ 494p  
978-4-04-130401-3

¥836 [税込]





### ぼっけえ、きょうてえ(角川ホラー文庫)

岩井 志麻子 著  
角川書店

岡山の遊郭で醜い女郎が客に自分の身の上を語り始める。間引き専門の産婆を母にもち、生まれた時から赤ん坊を殺す手伝いをしていた彼女の人生は、血と汚辱にまみれた地獄道だった…。

朝日新聞 2024/01/06

2002:7./ 211p  
978-4-04-359601-0  
¥616 [税込]



### バッテリー(角川文庫)

あさの あつこ 著  
角川書店

岡山県境の地方都市・新田に引っ越してきた 12 歳の原田巧。天才ピッチャーとしての強い自負を持つ巧の前に、彼とバッテリーを組むことを熱望する同級生の永倉豪が現れる。

朝日新聞 2024/01/06

2003:12./ 262p  
978-4-04-372101-6  
¥572 [税込]



### おにのまつり

天川 栄人 著  
講談社

岡山の夏の風物詩、うらじゃ。中 3 のあさひは、先生からコーチ役を頼まれ、同級生 4 人の「問題児」とともに「鬼の祭り」うらじゃに参加することに。練習を重ねるうち、5 人は理解し合い…。5 人の中学生たちの心の解放の物語。

朝日新聞 2024/01/06

2022:7./ 218p  
978-4-06-528473-5  
¥1,540 [税込]



### 事務に踊る人々

阿部 公彦 著  
講談社

事務。それは人間を人間たらしめる究極の知恵-。時に文豪を苦しめ、戦争を阻止し、巨額の損失を生み、ついには死の世界を垣間見せる事務の営みから人間のあり方を再考する。『群像』連載に書き下ろしを加えて単行本化。

朝日新聞 2024/01/06

2023:9./ 388p  
978-4-06-532946-7  
¥2,090 [税込]



### 君と宇宙を歩くために (1) (アフタヌーン KC)

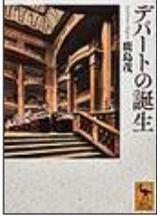
泥ノ田 犬彦 著  
講談社

「普通」ができない正反対の 2 人がそれぞれ壁にぶつかりながらも楽しく生きるために奮闘する友情物語。

朝日新聞 2024/01/06

2023:11./ 208p  
978-4-06-533487-4  
¥946 [税込]





### デパートの誕生(講談社学術文庫 2792)

鹿島 茂 著  
講談社

豪華絢爛。お客は恍惚。欲望に火を付ける巨大空間-。19世紀半ば、圧巻の施策を次々と繰り広げた世界最大の百貨店「ボン・マルシェ」。その壮大な成功譚を古書や仏文学作品から採取し、第二次王政復古後のバリを活写する。

朝日新聞 2024/01/06

2023:11./ 277p  
978-4-06-533965-7

¥1,221 [税込]



### <私>を取り戻す哲学(講談社現代新書 2730)

岩内 章太郎 著  
講談社

なぜスマホを見続けてしまうのか。何を見たいのか。何が本当に必要なのか。スマホ時代の過剰なつながりによってもたらされた<私>の喪失に、私たちはどう抗うのか-。気鋭の哲学者が現代を生き抜くための思考法を明かす。

朝日新聞 2024/01/06

2023:12./ 254p  
978-4-06-534388-3

¥1,078 [税込]



### 始祖鳥記(小学館文庫)

飯嶋 和一 著  
小学館

空前の災厄続きに、人心が絶望に打ちひしがれた暗黒の天明期、大空を飛ぶことに己のすべてを賭けた男がいた。その“鳥人”幸吉の生きざまに人々は奮い立ち、腐りきった公儀の悪政に敢然と立ち向かった-。

朝日新聞 2024/01/06

2002:11./ 509p  
978-4-09-403311-3

¥764 [税込]



### 女形と針子(小学館文庫 小学館時代小説文庫 Jか 04-1)

金子 ユミ 著  
小学館

傍流歌舞伎一座「花房座」は東京の芝居小屋での興行が決まるが、人気の若女形の千多が失踪してしまう。いつもは裏方の仕事を担う姉の百多が、急遽、弟に化け舞台に立つことに。しかし、衣裳屋の職人・暁に正体が露見して...

朝日新聞 2024/01/06

2023:11./ 329p  
978-4-09-407308-9

¥803 [税込]



### 山椒魚 改版(新潮文庫)

井伏 鱒二 著  
新潮社

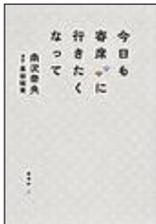
老成と若さの不思議な混淆、これを貫くのは豊かな詩精神。飄々として明るく跟々として暗い。本書は初期の短編より代表作を収める短編集である。

朝日新聞 2024/01/06

1996:2./ 270p  
978-4-10-103402-7

¥539 [税込]





### 今日も寄席に行きたくなって

南沢 奈央 著  
新潮社

落語との運命的な出会い、蝶花楼桃花の真打昇進までの半生記、伝説の超大作「怪談牡丹灯笼」、自身が高座に挑戦した演芸会など、女優・南沢奈央が寄席への愛を綴る。「はじめて寄席ガイド」も収録。『波』連載を書籍化。

朝日新聞 2024/01/06

2023:10./ 228p  
978-4-10-355331-1

¥1,870 [税込]



### 絵画の解放〜カラーフィールド絵画と20世紀アメリカ文化〜

加治屋 健司 著  
東京大学出版会

モダニズム美術批評からインテリア・デザインの広がりへ。20世紀アメリカを代表する画家5人を取り上げ、同時代の展覧会評や批評、美術動向に関する言説を丹念に読み解き、20世紀アメリカ文化との豊かな関係性を考察する。

朝日新聞 2024/01/06

2023:9./ 368p  
978-4-13-016047-6

¥6,270 [税込]



### イラク水滸伝

高野 秀行 著  
文藝春秋

「水滸伝」しながら権力に抗うアウトローや迫害されたマイノリティが逃げ込むイラクの謎の巨大湿地帯<アフワール>とは? “現代最後のカオス”に挑んだノンフィクション。『オール讀物』連載を加筆・修正して単行本化。

朝日新聞 2024/01/06

2023:7./ 477p 図版 12p

978-4-16-391729-0

¥2,420 [税込]



### 櫻がけの二人

嶋津 輝 著  
文藝春秋

裕福な家に嫁いだ千代と、女中頭の初衣。戦後すべてを失った千代は住み込みの女中に、視力を失った初衣は三味線の師匠となり…。大正から戦後にかけて、「普通」から逸れてもそれぞれの道を行くふたりの女性を描く。

朝日新聞 2024/01/06

2023:9./ 364p

978-4-16-391751-1

¥1,980 [税込]



### 螢と鶯〜鳴神黒衣後見録〜(祥伝社文庫 さ 25-1)

佐倉ユミ 著  
祥伝社

畑で大根を盗んでいた文無しは、鳴神座の狂言作者・石川松鶴に拾われた。狸八と命名され下働きとなるが、実は大店育ちで掃除さえできない狸八は一座のお荷物に。だが、舞台上で大雨を降らせるという松鶴が出した難題を解決し…。

朝日新聞 2024/01/06

2023:11./ 279p  
978-4-396-35024-6

¥792 [税込]





### 柔道の真髓～道と術～(名著復刻)

三船 久蔵 著

誠文堂新光社

講道館の開祖・嘉納治五郎に師事した十段・三船久蔵が、1965年4月に刊行した柔道の実践書を復刻。概論をはじめ、技術編では、礼から基本技、裏技、参考技まで、三船自ら被写体となった連続写真とともに解説する。

朝日新聞 2024/01/06

2023:10./ 224p  
978-4-416-82300-2

¥7,700〔税込〕



### 遠くから見たら島だった

ブルーノ・ムナーリ 著

創元社

多彩な顔を持つ表現者ブルーノ・ムナーリは、海岸でひろった石ひとつひとつにも、ゆたかな個性とファンタジーを見出していた。モノクロの写真と素朴なことばでつづる、遊び心たっぷりの石のエッセイ。

朝日新聞 2024/01/06

2023:12./ 45p  
978-4-422-44041-5

¥2,640〔税込〕



### 未婚と少子化～この国で子どもを産みにくい理由～(PHP新書 1382)

筒井 淳也 著

PHP研究所

「少子化対策=子育て支援」とだけ考え、手前の「未婚・晩婚問題」が改善されない現状は、少子化にまつわる誤解が招いた過ちの最たる例。データ・統計を用いてこれらの誤解を分析・検証し、議論のために必要な知見を提供する。

朝日新聞 2024/01/06

2023:12./ 179p  
978-4-569-85616-2

¥1,122〔税込〕



### 二人の美術記者～井上靖と司馬遼太郎～

ホンダ・アキノ 著

平凡社

新聞記者時代、美術と宗教を担当し、その後作家へと転身した共通点をもつ井上靖と司馬遼太郎。のちに国民的作家となったふたりの知られざる美術記者としての葛藤の日々、対照的な美へのまなざしを追う。

朝日新聞 2024/01/06

2023:9./ 254p  
978-4-582-83932-6

¥2,640〔税込〕



### おくり絵師(ハルキ文庫 時代小説文庫 も 5-1)

森 明日香 著

角川春樹事務所

絵師歌川国藤のもとで修行中のおふゆ。思うように描けず悩んでいたある日、亡くなった役者を描いた「死絵」に出会う。一方、昔馴染みの役者が浅草の芝居小屋の夏興行で主役を張ることに。おふゆは初日の舞台を見に行くが...

朝日新聞 2024/01/06

2023:10./ 241p  
978-4-7584-4599-3

¥836〔税込〕





### 謝罪論～謝るとは何をすることなのか～

古田 徹也 著  
柏書房

「すみません」では済まないとき、何をすれば謝ったことになる？ 責任、償い、約束、赦し、後悔、誠意への懷疑…。謝罪の機能や不適切な謝罪の特徴を解き明かし、学際的な知を総動員して、「謝罪の全体像」に迫る。

朝日新聞 2024/01/06

2023:9./ 303p  
978-4-7601-5533-0

¥1,980〔税込〕



### 美術のトラちゃん

パピヨン本田 著  
イースト・プレス

今さら「わからない」って言えない有名アーティスト・作品を一気におさらい！ 学校では教えてくれない、ゆるわかり現代アート。ウェブメディア『CINRA』連載を加筆・修正、書きおろしを加えて書籍化。

朝日新聞 2024/01/06

2023:9./ 284p  
978-4-7816-2238-5

¥3,080〔税込〕



### 中国人権英雄画伝～在日水墨画家による詩書画で讃えた一六名の自由義士～

宇宙 大観、麻生 晴一郎 著  
集広舎

真の法治国家の実現のため、独立した人格と多大な勇気をもって、独裁政権に平和的に立ち向かった中国の自由義士たち。中国人水墨画家がその姿と魂を詩書画で描く。

朝日新聞 2024/01/06

2023:10./ 240p  
978-4-86735-049-2

¥3,300〔税込〕



### フット・ワーク～靴が教えるグローバリゼーションの真実～

タンジー・E・ホスキンス 著  
作品社

靴はかつてないほど安く買えるようになった一方で、生産の過程において、環境にも人間にも極めて深刻な害を及ぼしている。「靴」を手がかりに、なぜ世界が危機的状況に陥っているかを解き明かし、解決に向けた提言を行う。

朝日新聞 2024/01/06

2023:11./ 372p  
978-4-86793-002-1

¥2,970〔税込〕



### 中村哲 思索と行動～「ペシャワール会報」現地活動報告集成～<上> 1983～2001

中村 哲 著  
忘羊社

病・貧富・戦乱…。寄る辺なき患者達に希望の灯を届けるべく苦闘し続けた中村哲医師の実践の軌跡。上は、1983年から2001年までに『ペシャワール会報』に掲載した活動報告を収録する。

朝日新聞 2024/01/06

2023:6./ 430p  
978-4-907902-34-6

¥2,970〔税込〕





### ともぐい

河崎 秋子 著  
新潮社

明治後期、人里離れた山中で犬を相棒にひとり狩猟をして生きていた熊爪は、ある日、血痕を辿った先で負傷した男を見つける。男は、冬眠していない熊「穴持たず」を追っていたというが…。『小説新潮』連載を加筆修正。

朝日新聞 2024/01/06、産経新聞 2024/01/07

2023:11./ 295p  
978-4-10-355341-0

¥1,925〔税込〕



### なるようになる。～僕はこんなふう生きてきた～

養老孟司 著  
中央公論新社

記憶のはじまりだった父の死、虫採りに夢中だった少年時代、医学部進学と解剖学への道、大学紛争と葛藤、同じ年にやってきたと愛猫と平成のベストセラー…。養老先生初の自伝。50の質問も収録。『読売新聞』連載に加筆。

朝日新聞 2024/01/06、読売新聞 2024/01/07

2023:11./ 205p  
978-4-12-005712-0

¥1,540〔税込〕



### 甘くない湖水

ジュリア・カミニート 著  
早川書房

貧しさや不条理におしつぶされ、母の厳格さにも息苦しさを覚え、鬱積した心の闇から、次第に暴力的な衝動に駆られていき…。湖畔の貧困家庭で育てられた少女の心の渦をつぶさに描いた傑作長篇。

朝日新聞 2024/01/06、読売新聞 2024/01/07

2023:11./ 367p  
978-4-15-210276-8

¥2,750〔税込〕



### 小林麻美 I will(文春文庫 の24-1)

延江 浩 著  
文藝春秋

松任谷由実プロデュース「雨音はショパンの調べ」で時代のミューズとなりながら、1991年に突如引退した小林麻美。鮮やかな引退と四半世紀ぶりの復活劇、夫・田邊昭知や親友・ユーミンとの秘話などを語り尽くす。

朝日新聞 2024/01/06、読売新聞 2024/01/07

2023:11./ 169p  
978-4-16-792132-3

¥902〔税込〕



### 死後を生きる生き方(集英社新書 1186)

横尾 忠則 著  
集英社

父母、愛猫の死から三島由紀夫、アンディ・ウォーホルらとの交流の記憶まで。87歳を迎えた世界的美術家が、貴重なエピソードを交え、死とアートの関係と魂の充足について自由闊達につづる。

朝日新聞 2024/01/06、読売新聞 2024/01/07、産経新聞 2024/01/28

2023:10./ 203p  
978-4-08-721286-0

¥1,210〔税込〕





## 平和に生きる権利は国境を超える～パレスチナとアフガニスタンにかかわって～

猫塚義夫、清末愛砂 著  
あけび書房

国際支援活動の基軸として日本国憲法をどのように位置づけるのか。パレスチナとアフガニスタンの支援活動が続ける医師と法学者が、現地訪問の経験から、“平和的生存権”と“法の支配”と、日本人がなすべきことを問う。

朝日新聞 2024/01/06、毎日新聞 2024/01/06

2023:11./ 180p  
978-4-87154-243-2

¥1,760〔税込〕



9 78 48 71 54 24 32



## ウィーン ユダヤ人が消えた街～オーストリアのホロコースト～

野村 真理 著  
岩波書店

世紀末ウィーンを支えた 18 万人ものユダヤ人社会は、第二次世界大戦終了時、無くなった。オーストリアにおいてホロコーストはいかにして起こり、「克服」されたのか。オーストリアの近現代史を戦後の歴史政策も含め描く。

朝日新聞 2024/01/13

2023:11./ 262p  
978-4-00-022245-7

¥3,190〔税込〕



9 78 40 00 22 24 57



## 日本軍の治安戦～日中戦争の実相～(岩波現代文庫 学術 471)

笠原 十九司 著  
岩波書店

日本軍は中国大陸で何をしたのか。日本軍がおこなった治安戦(三光作戦)の発端・展開・変容の過程を丹念に辿り、加害の論理と被害の記憶からその実相を浮き彫りにする。

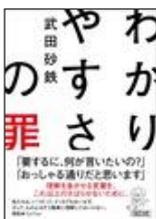
朝日新聞 2024/01/13

2023:12./ 366p  
978-4-00-600471-2

¥1,760〔税込〕



9 78 40 06 00 47 12



## わかりやすさの罪(朝日文庫 た 68-1)

武田砂鉄 著  
朝日新聞出版

「すぐにわかる」に頼るメディア。わかりやすさの妄信、猛進が、私たちの社会にどのような影響を及ぼしているのだろうか。納得と共感に溺れる社会で、与えられた選択肢を疑うための書。

朝日新聞 2024/01/13

2024:1./ 338p  
978-4-02-262087-3

¥946〔税込〕



9 78 40 22 62 08 73



## 悪文～伝わる文章の作法～(角川ソフィア文庫 E108-1)

岩淵 悦太郎 編  
KADOKAWA

不用意な語順、一文字の助詞のちがひ、身勝手な句読点…。すらりと頭に入らない悪文の、わかりにくさの要因はどこにあるのか？ 伝わらない文章の具体例をあげて徹底解剖。悪文の撃退法を 50 の鉄則で示し、添削法を明かす。

朝日新聞 2024/01/13

2016:10./ 285p  
978-4-04-400081-3

¥880〔税込〕



9 78 40 44 00 08 13



## 西南役伝説(講談社文芸文庫 い R2)

石牟礼 道子 著

講談社

「西南戦争」の戦場となった九州の中南部で名もなき人々によって語り継がれてきた声に耳を澄ます。百年というスケールでこの国の「根」の在処を探った、名作「苦海浄土」につらなる石牟礼文学の代表作。

朝日新聞 2024/01/13

2018:3./ 315p  
978-4-06-290371-4

¥2,200 [税込]



## トラディション

鈴木 涼美 著

講談社

表面だけ明るく、少し退屈になった街で、みんながごく個人的に病んでいく。ホストクラブの受付で働く「私」、男に入れ込む幼なじみ。夜の世界を「生き場所」とする彼女らの蠢惑と渴望を描く。『群像』掲載を単行本化。

朝日新聞 2024/01/13

2023:12./ 119p  
978-4-06-533911-4

¥1,650 [税込]



## バルカンの政治

月村 太郎 著

東京大学出版会

バルカン戦争、第一次・第二次世界大戦、冷戦、ユーゴ内戦…。多民族の小国がひしめくバルカン地域は戦争に彩られた。東欧革命から30年余、19世紀～21世紀におけるバルカン諸国の政治の歩みを描き出す。

朝日新聞 2024/01/13

2023:9./ 14p,354p  
978-4-13-030189-3

¥5,720 [税込]



## 草を結びて環(たま)を銜えん(ハヤカワ文庫 SF ケン・リュウ短篇傑作集 2236 4)

ケン・リュウ 著

早川書房

揚州大虐殺のなかを生き延びた遊女を描く表題作、満州で巨大熊を捕獲しようとした探検隊が出会った悪夢「烏蘇里熊」など、著者の第2短篇集の単行本「母の記憶に」から7篇を収録する。

朝日新聞 2024/01/13

2019:6./ 335p  
978-4-15-012236-2

¥792 [税込]



## ロッキード(文春文庫 ま 33-5)

真山 仁 著

文藝春秋

日本を揺るがした大疑獄の「真犯人」とは。なぜ角栄は葬られたのか。裁判官、特捜検事、秘書、全日空関係者らの多数の証言をもとに、「ロッキード神話」の真実を明らかにする。

朝日新聞 2024/01/13

2023:12./ 654p  
978-4-16-792149-1

¥1,430 [税込]





平家物語<3>(河出文庫 古典新訳コレクション ふ 5-6 13)

河出書房新社

東に頼朝、京に義仲、西に平家、天下は三分され、源氏の白旗が京都を埋め尽くす。後白河法皇から征夷將軍の院宣が頼朝に下り、義経が京を目指す。一方、義仲は追い詰められ…。書き下ろし「後白河抄・三」も収録。

朝日新聞 2024/01/13

2023:12./ 347p  
978-4-309-42068-4

¥880〔税込〕



戦死者たちの源平合戦～生への執着、死者への祈り～(歴史文化ライブラリ  
— 579)

田辺 旬 著

吉川弘文館

多くの犠牲者が出た源平合戦。武士は戦死とどう向き合い、いかに語り継いだのか。戦功の認定基準や、討たれた首の取り扱い、大路渡をめぐる葛藤、鎌倉幕府による顕彰や鎮魂に着目し、敵も吊った心性を読み解く。

朝日新聞 2024/01/13

2023:11./ 5p,176p  
978-4-642-05979-4

¥1,870〔税込〕



記者狙撃～ベトナム戦争とウクライナ～

中村 梧郎 著

花伝社

40年以上前に、ベトナムの戦場で銃弾に散った日本人特派員がいた。盟友の死と向き合いながら侵略戦争の本質を見つめ続けた報道写真家が、ベトナム戦争とウクライナ侵攻に共通する「帝国主義的侵略」に現場の視点から迫る。

朝日新聞 2024/01/13

2023:10./ 277p  
978-4-7634-2085-5

¥1,870〔税込〕



鬼の筆～戦後最大の脚本家・橋本忍の栄光と挫折～

春日 太一 著

文藝春秋

「七人の侍」「砂の器」「八甲田山」…。1950年代～70年代、脚本家として次々と名作を書いた橋本忍。生前のインタビューや創作ノート、関係者への取材をもとに“全身脚本家”驚愕の真実と知られざる全貌に迫る。

朝日新聞 2024/01/13、産経新聞 2024/01/14、読売新聞 2024/01/14

2023:11./ 476p  
978-4-16-391700-9

¥2,750〔税込〕



「源氏物語」の時代を生きた女性たち(NHK 出版新書 711)

服藤 早苗 著

NHK出版

紫式部をはじめとする平安期の女性たちが、歴史的な文学作品をのこすことができたのはなぜか？身分ある女性から庶民の女性にまで光を当て、彼女たちの結婚・出産・仕事・老後等を史料に基づいて解説。平安時代の実像に迫る。

朝日新聞 2024/01/13、東京・中日新聞 2024/01/14

2023:12./ 281p  
978-4-14-088711-0

¥1,078〔税込〕





**スーザン・ソング～「脆さ」にあらがう思想～(集英社新書 1184)**

波戸岡 景太 著  
集英社

戦争、病、ジェンダー…。多岐にわたる事象を喝破した批評家ソング。若きカリスマとなったデビューから、「9.11 事件」でバッシングの対象になった晩年までの生涯とともに、彼女の知性が読者を挑発し続ける理由を探る。

朝日新聞 2024/01/13、毎日新聞 2024/01/13

2023:10./ 237p  
978-4-08-721284-6

¥1,210〔税込〕



**家を失う人々～最貧困地区で生活した社会学者、1年余の記録～**

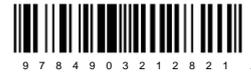
マシュー・デズモンド 著  
海と月社

法外な家賃に厳しい取り立て-これでも“自己責任”なのか？ アメリカの貧困層をさらなる困難へと追いやるプロセスを赤裸々に記録し、「搾取と強欲な市場」を暴き出す。貧困問題の解決に鋭く切り込む世界的名著。

朝日新聞 2024/01/13、毎日新聞 2024/01/20

2023:11./ 565p  
978-4-903212-82-1

¥2,860〔税込〕



**長篠合戦～鉄砲戦の虚像と実像～(中公新書 2785)**

金子拓 著  
中央公論新社

足軽鉄砲隊の一斉射撃という信長の新戦法により、武田の誇る騎馬隊が潰滅した、画期的な戦いとして知られる長篠合戦。伝来する合戦図屏風ほか、様々な関連史料を検証し、最新研究をふまえて、虚飾に彩られた決戦の実像に迫る。

朝日新聞 2024/01/13、毎日新聞 2024/01/27

2023:12./ 6p,247p  
978-4-12-102785-6

¥990〔税込〕



**言語哲学がはじまる(岩波新書 新赤版 1991)**

野矢 茂樹 著  
岩波書店

語の意味より文の意味が優先する？「富士山」は本当の名前じゃない？ 言語哲学の源流を形作った3人の哲学者、フレーゲ、ラッセル、ウィトゲンシュタインの考え方を丁寧に辿り、ふだん何気なく使っている言葉の根本に迫る。

朝日新聞 2024/01/20

2023:10./ 270p  
978-4-00-431991-7

¥1,100〔税込〕



**お家、見せてもらっていいですか？**

佐久間 薫 著  
KADOKAWA

日本家屋、もじゃもじゃハウス、増築しすぎの家、自作の山小屋…。ユニークな建築造形や間取りの魅力と、そこに住む家主たちの人間ドラマを描いたコミック。家好き少年の“住みたい一軒家”探訪記。

朝日新聞 2024/01/20

2023:12./ 166p  
978-4-04-682718-0

¥1,540〔税込〕





### 映像表現革命時代の映画論(星海社新書 282)

杉本 穂高 著  
星海社

進化を続ける映画カルチャーを長年追う著者が、実写とアニメーションの二分法を疑い、そこに隠蔽されてきた「実写映画中心主義史観」を乗り越えるべく、話題作の映画が提示する可能性を大胆かつ緻密に検証する。

朝日新聞 2024/01/20

2023:12./ 296p  
978-4-06-534535-1

¥1,540〔税込〕



### 女たち三百人の裏切りの書(新潮文庫 ふ-42-7)

古川 日出男 著  
新潮社

怨霊として蘇った紫式部が「本もの」の宇治十帖を語りだす。やがて発表された物語は、人々の思惑とともに時代を動かし始め、壮大な女たちの裏切り合いに発展し…。嘘と欲望渦巻く、瞠目の古川日出男版源氏物語。

朝日新聞 2024/01/20

2023:12./ 676p  
978-4-10-130537-0

¥1,155〔税込〕



### 模倣の罣～自由主義の没落～

イワン・クラステフ／スティーヴン・ホームズ 著  
中央公論新社

西欧先進諸国を鏡とする「模倣の時代」の行き詰まりが、プーチン、習近平、トランプなど強権的な指導者の登場を招いた。民主的で自由主義的な未来は取り戻せるか。冷戦終焉から30年、自由主義の試練を描く。

朝日新聞 2024/01/20

2021:4./ 347p  
978-4-12-005430-3

¥3,740〔税込〕



### 宇宙に質量を与えた男ピーター・ヒッグス

フランク・クローズ 著  
早川書房

「素粒子物理学最大の謎」はいかにして解かれたのか？ ヒッグス粒子の発見にまつわるドラマ、ピーター・ヒッグスの人生、「ヒッグス」を追い続けた幾人もの同志たちの姿を精緻に描き出す。

朝日新聞 2024/01/20

2023:10./ 383p  
978-4-15-210274-4

¥2,970〔税込〕



### みんなで読む源氏物語(ハヤカワ新書 018)

渡辺 祐真 著  
早川書房

ひとりではなかなか読み通せない「源氏物語」も、みんなで読めばこわくない！国文学者から日本語学者、歌人に能楽師、物理学者、翻訳家まで、「源氏」に通じ愛する面々が集結。千年間この作品が読み継がれる理由を探る。

朝日新聞 2024/01/20

2023:12./ 278p  
978-4-15-340018-4

¥1,122〔税込〕





### 本心(文春文庫 ひ19-4)

平野 啓一郎 著

文藝春秋

急逝した最愛の母を AI で蘇らせた朔也。孤独で純粋な青年は<自由死>を願った母の「本心」を探ろうと、AI の<母>との対話を重ね、思いがけない事実と直面し…。

2040 年代の日本を舞台に、愛と幸福、命の意味を問う。

朝日新聞 2024/01/20

2023:12./ 475p  
978-4-16-792136-1

¥979 [税込]



### ずかん根っこ～見ながら学習調べてなっとく～

技術評論社

植物の本当の姿を知るには「根っこ」が重要。土のなかに隠れている根っこの姿や役割を、写真やイラストで楽しく紹介する。調べ学習に役立つよう、根っこの観察方法も掲載。

朝日新聞 2024/01/20

2023:9./ 128p  
978-4-297-13653-6

¥2,948 [税込]



### 山梔(ちくま文庫 の18-1)

野溝 七生子 著

筑摩書房

身を犠牲にする母と姉への愛、暴力をふるう父への愛憎、読書への切なる欲求、古代ギリシャ神話への憧憬…。家父長制や結婚への圧力など不自由な世界と、葛藤する誇り高く瑞々しい少女の精神を描いた自伝的小説。

朝日新聞 2024/01/20

2023:12./ 458p  
978-4-480-43922-2

¥1,320 [税込]



### M-1 はじめました。

谷 良一 著

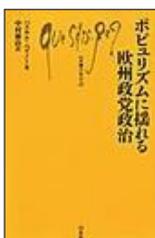
東洋経済新報社

今のお笑いブームの陰には、漫才を立て直そうと奮闘した1人の吉本社員の泥臭いドラマがあった! 起死回生の漫才復興プロジェクト「M-1 グランプリ」をつくった元吉本社員がその裏側をすべて語る。

朝日新聞 2024/01/20

2023:11./ 293p  
978-4-492-04755-2

¥1,760 [税込]



### ポピュリズムに揺れる欧州政党政治(文庫クセジュ 1056)

パスカル・ペリノー 著

白水社

大統領選挙、国民議会選挙等の分析において中心的役割を果たしてきたペリノーが、19世紀後半のロシアやアメリカを起源とし、この数十年で多様な様相を帯びるポピュリズム現象を、豊富な事例とともに総括する。

朝日新聞 2024/01/20

2023:1./ 155p  
978-4-560-51056-8

¥1,320 [税込]





### メタゾアの心身問題～動物の生活と心の誕生～

ピーター・ゴドフリー＝スミス 著  
みすず書房

タコの経験、ヤドカリの経験…。動物たちを独特な「経験する存在」にしているものは何だろう？ 現生の生物たちを手がかりに、さまざまな感性のパラダイム、進化的起源を探り、心の発生についての包括的な説明を試みる。

朝日新聞 2024/01/20

2023:12./ 291p,60p  
978-4-622-09662-7

¥3,520〔税込〕



### 右翼ポピュリズムのディスコース～恐怖をあおる政治を暴く～ 第2版

ルート・ヴォダック 著  
明石書店

ナショナリズム、外国人排斥、イスラム嫌悪など、極右ポピュリストが煽動する政治的言説やレトリックを体系的かつ批判的に分析。右翼勢力が台頭するメカニズムを明らかにする。ヨーロッパの極右ポピュリズム政党一覧も収録。

朝日新聞 2024/01/20

2023:1./ 351p  
978-4-7503-5515-3

¥4,950〔税込〕



### グローバルインフレーションの深層

河野 龍太郎 著  
慶應義塾大学出版会

米国の高金利が誘発する超円安は、日本のインフレを助長し、同時に財政インフレリスクも忍び寄る。局面打開に何が必要か。著名エコノミストが理論・歴史・政治・国際的視点から金融経済の行方を読み解く。

朝日新聞 2024/01/20

2023:12./ 26p,305p  
978-4-7664-2934-3

¥1,760〔税込〕



### モニュメント原論～思想的課題としての彫刻～

小田原のどか 著  
青土社

公共空間に立つ為政者の彫像が、なぜ革命・政変時に民衆の手で引き倒されるのか。彫刻を思想的課題と任じ、日本近現代の政治・歴史・教育・芸術・ジェンダーを再審に付す。ウェブ版『美術手帖』等での美術評連載も収録。

朝日新聞 2024/01/20

2023:11./ 613p  
978-4-7917-7455-5

¥4,620〔税込〕



### コロナ禍の声を聞く～大学生とオーラルヒストリーの出会い～(阪大リーブル 77)

大阪大学日本学専修「コロナと大学」プロジェクト 編  
大阪大学出版会

記憶や経験を聞き取り記録する「オーラルヒストリー」を学ぶ大阪大学の学生たちが、コロナ禍を生きる留学生を含む学生、その家族や大学教員など、大学関係者を中心に、市井の人々の語りに耳をすました記録。

朝日新聞 2024/01/20

2023:11./ 251p  
978-4-87259-646-5

¥2,200〔税込〕





### 小山さんノート

小山さんノートワークショップ 編  
エトセトラブックス

時間の許される限り、私は私自身でありたい-。「小山さん」と呼ばれたホームレス女性が、1991年から2004年までに綴った手記の抜粋と、8年かけて手記の文字起こしをした女性たちのエッセイを収録する。

朝日新聞 2024/01/20

2023:10./ 286p  
978-4-909910-19-6

¥2,640〔税込〕



### ナムコはいかにして世界を変えたのか〜ゲーム音楽の誕生〜(ele - king books)

鳴原盛之 著  
Pヴァイン

いまや世界中で親しまれているゲーム音楽。日本におけるゲーム音楽の誕生から、ゲーム音楽の市場および文化の確立に至るまでの過程を、ナムコ歴代のビデオゲーム作品の音楽にフォーカスしたうえで、当事者の証言をまとめる。

朝日新聞 2024/01/20

2023:8./ 254p  
978-4-910511-55-9

¥2,475〔税込〕



### 続きと始まり

柴崎 友香 著  
集英社

2つの大震災。未知の病原体の出現。誰にも同じように流れたはずの、あの月日-。別々の場所で暮らす男女3人の日常を描き、蓄積した時間を見つめる、叙事的長編小説。『すばる』連載を単行本化。

朝日新聞 2024/01/20、日本経済新聞 2024/01/27、東京・中日新聞 2024/01/28

2023:12./ 341p  
978-4-08-771856-0

¥1,980〔税込〕



### ゴキブリ・マイウェイ〜この生物に秘められし謎を追う〜

大崎 遥花 著  
山と溪谷社

翅の食い合いはするし、卵胎生だし、子育てもするし、浮気もしない。それらを「全部盛り」した面白い生き物、ゴキブリ。論文書くのツラすぎる、時間もお金も足りない、けど...。行動生態学の最前線と研究世界の歩き方を綴る。

朝日新聞 2024/01/20、毎日新聞 2024/01/20

2023:12./ 271p  
978-4-635-06315-9

¥1,760〔税込〕



### くらべて、けみして〜校閲部の九重さん〜

こいし ゆうか 著  
新潮社

目がかすむまでくらべて、指紋がなくなるまでけみする! 出版社の「縁の下の力持ち」として存在する校閲者の日常を軽妙に描くお仕事コミック。『小説新潮』連載を書籍化。

朝日新聞 2024/01/20、毎日新聞 2024/01/27

2023:12./ 140p  
978-4-10-355391-5

¥1,265〔税込〕





### 宇宙人のためのせんりゅう入門

暮田 真名 著

左右社

川柳人・暮田真名と、マンションの入り口で拾った宇宙人・せんりゅうの奇妙な共同生活が幕を開けた…。2人の対話形式で、川柳の作り方、句会などについて解説する。シュールなのになぜか胸が熱くなる川柳入門。

朝日新聞 2024/01/21

2023:12./ 191p  
978-4-86528-396-9

¥1,980〔税込〕



### 中国のはなし～田舎町で聞いたこと～

閻 連科 著

河出書房新社

河南省の田舎町のある一家では、息子は父に、父は母に、母は息子に殺意を抱いていた。「すばらしい中国のはなしを語る」という政治キャンペーンを逆手にとり、改革開放から取り残された家族の「声」を再構成した奇妙な物語。

朝日新聞 2024/01/26

2023:12./ 268p  
978-4-309-20894-7

¥3,245〔税込〕



### 死者たちへの捧げもの

安藤礼二 著

青土社

大江健三郎、三島由紀夫、安部公房、中上健次、古井由吉、菊地信義、磯崎新…。彼らが残したものは何か。過去から未来へと、その思想を受けつぎつつ、さらにその先まで見つめようとする作品論にして作家論。

朝日新聞 2024/01/26

2023:12./ 278p  
978-4-7917-7607-8

¥2,640〔税込〕



### ナイチンゲールが歌ってる(岩波少年文庫 260)

ルーマー・ゴッデン、網中 いづる 著

岩波書店

バレエに打ちこむ少女ロッチェは、おばちゃんとふたり暮らし。才能を認められて、寄宿制の王立バレエ学校を受験するが、一匹の子犬と出会ったことから心に秘密を抱えることに…。人生のよろこびを歌う、ゴッデンの名作を新訳。

朝日新聞 2024/01/27

2023:12./ 393p  
978-4-00-114260-0

¥1,078〔税込〕



### 限界分譲地～繰り返される野放図な商法と開発秘話～(朝日新書 941)

吉川祐介 著

朝日新聞出版

全国に広がる放棄住宅。投機型分譲地、原野商法など、高度成長期からバブル期にかけて世を席卷した、杜撰な土地ビジネスがもたらした負の遺産の軌跡を辿り、現在の不動産バブルとの共有性を見出し、警鐘を鳴らす。

朝日新聞 2024/01/27

2024:1./ 238p  
978-4-02-295252-3

¥957〔税込〕





### 日本精神史<近代篇上>(講談社選書メチエ le livre)

長谷川 宏 著  
講談社

近代の日本の美術・思想・文学を、人々の精神の歴史として描く。近代篇上は、明治維新という近代の始まりから、啓蒙思想の転変や近代文学者の苦闘などを経て、岸田劉生や村上華岳らによる美の探究までを取り上げる。

朝日新聞 2024/01/27

2023:10./ 544p  
978-4-06-523521-8

¥3,410〔税込〕



### 日本精神史<近代篇下>(講談社選書メチエ le livre)

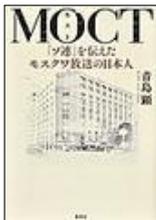
長谷川 宏 著  
講談社

近代の日本の美術・思想・文学を、人々の精神の歴史として描く。近代篇下は、軍国ファシズム下の表現から、敗戦後の精神のありよう、大衆文化や高度経済成長下の運動と表現、大江健三郎・唐十郎・宮崎駿までを取り上げる。

朝日新聞 2024/01/27

2023:10./ 499p  
978-4-06-533332-7

¥3,410〔税込〕



### MOCT〜「ソ連」を伝えたモスクワ放送の日本人〜

青島 顕 著  
集英社

東西冷戦下、モスクワから発信される日本語放送。その業務を担っていた日本人たちはどんな人物だったのか。何を目的としていたのか。ラジオを通して隣国の一面を伝えた人たちの物語。『毎日新聞』掲載を大幅に加筆・再構成。

朝日新聞 2024/01/27

2023:11./ 261p  
978-4-08-781747-8

¥1,980〔税込〕



### 岸辺のアルバム(P+D BOOKS)

山田 太一 著  
小学館

高度成長期の日本。郊外の戸建て住宅に暮らす一見幸福そうな家族。大企業に勤める夫、傍目には恵まれた貞淑な妻、才気煥発な女子大生の娘、気弱な高校生の息子。だが一家は、ある一本の電話から破綻に向かって走り出し...

朝日新聞 2024/01/27

2018:11./ 521p  
978-4-09-352351-6

¥990〔税込〕



### ナッシング・マン(新潮文庫 ハ-59-2)

キャサリン・R・ハワード 著  
新潮社

12歳のとき、連続殺人鬼<ナッシング・マン>に家族を惨殺されたイヴは、犯罪実録「ナッシング・マン」を上梓。一方、この本を偶然読んだ警備員ジムは、自分の犯行であることが暴かれそうだと知り...。圧巻の報復サスペンス。

朝日新聞 2024/01/27

2024:1./ 462p  
978-4-10-240222-1

¥990〔税込〕





冷戦史<上> 第二次世界大戦終結からキューバ危機まで(中公新書 2781)

青野利彦 著  
中央公論新社

第二次世界大戦後、アメリカ中心の西側陣営とソ連中心の東側陣営が対立し冷戦が勃発。その冷戦を、世界的な視野から俯瞰する通史。上巻では、1962年のキューバ・ミサイル危機で核戦争寸前に至るまでを描く。

2023:12./ 4p,264p  
978-4-12-102781-8

¥990〔税込〕



朝日新聞 2024/01/27



冷戦史<下> ベトナム戦争からソ連崩壊まで(中公新書 2782)

青野利彦 著  
中央公論新社

第二次世界大戦後、アメリカ中心の西側陣営とソ連中心の東側陣営が対立し冷戦が勃発。その冷戦を、世界的な視野から俯瞰する通史。下巻では、ベトナム戦争の混迷、デタントから新冷戦、ゴルバチョフ登場と冷戦終結までを描く。

2023:12./ 248p  
978-4-12-102782-5

¥968〔税込〕



朝日新聞 2024/01/27



ポール・ニューマン語る～ありふれた男の驚くべき人生～

ポール・ニューマン 著  
早川書房

「ハスラー」をはじめとする数々の名作に出演した伝説のスター、ポール・ニューマンの自伝。少年時代から、終生彼を悩ませた飲酒問題、俳優としての遍歴、結婚生活に至るまでを赤裸々に語る。秘蔵写真や関係者の証言も収録。

2023:11./ 370p  
978-4-15-210283-6

¥4,070〔税込〕



朝日新聞 2024/01/27



神と黒蟹県

絲山 秋子 著  
文藝春秋

日本のどこにでもあるような「地味県」の黒蟹県。そこで暮らす、そこを訪れる、名もなき人々や半知半能の神がすれ違いながら織りなす、かけがえなく、いとoshii日々を描く連作小説集。『文學界』掲載を単行本化。

2023:11./ 232p  
978-4-16-391775-7

¥1,980〔税込〕



朝日新聞 2024/01/27



光る君と謎解きを～源氏物語転生譚～(宝島社文庫 このミス大賞 C 7-3)

日部 星花 著  
宝島社

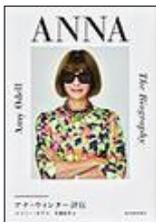
「源氏物語」の世界に転生した就活生の紫乃。光源氏にすべてを打ち明け、若紫として生活することに。優雅な平安貴族ぐらしと思ったら、奇妙な事件が次々と起きて...。王朝絵巻の事件に、令和の就活女子が挑む!

2024:1./ 246p  
978-4-299-04886-8

¥880〔税込〕



朝日新聞 2024/01/27



### ANNA〜アナ・ウィンター評伝〜

エイミー・オデル 著

河出書房新社

『ヴォーグ』編集長から巨大メディア企業コンデナストの最上層部へ。ファッション界、メディア界で最も権力を手にした女性アナ・ウィンターの野心と波乱に満ちたキャリアの全貌を、多くの関係者インタビューをもとに描き出す。

朝日新聞 2024/01/27

2023:12./ 531p 図版

16p

978-4-309-20893-0

¥3,960〔税込〕



9 7 8 4 3 0 9 2 0 8 9 3 0



### その時あの時の今〜私記テレビドラマ 50年〜(河出文庫 や 32-2)

山田 太一 著

河出書房新社

名脚本家・山田太一はどのような思いを込めてテレビドラマを書き続けてきたのか。「岸辺のアルバム」「ふぞろいの林檎たち」など数々の名作の誕生秘話や自らの仕事作法について大いに語る。語り下ろしインタビュー付き。

朝日新聞 2024/01/27

2015:12./ 326p

978-4-309-41419-5

¥858〔税込〕



9 7 8 4 3 0 9 4 1 4 1 9 5



### はじめて話すけど...〜小森取インタビュー集〜(創元推理文庫 M こ-9-1)

小森 収／各務 三郎／皆川 博子／三谷 幸喜／法月 綸太郎／石上 三登志／松岡 和子／和田 誠／北村 薫 著

東京創元社

真剣に、されど自由に道を究めた達人たちの極意とは。海外ミステリの魅力、本に溺れた幼少期、アメリカ文化に触れる喜び...。各務三郎、皆川博子ら8人のインタビューを収録する。北村薫のインタビューを新規掲載し文庫化。

朝日新聞 2024/01/27

2023:12./ 376p

978-4-488-48521-4

¥1,320〔税込〕



9 7 8 4 4 8 8 4 8 5 2 1 4



### 愛しみに溺レル

橋爪 駿輝 著

扶桑社

売春、オーバードーズ、リストカット。学校や家より、わたしはここにいたい。ト一横キッズたちの孤独と共生を描いた青春小説。『週刊 SPA!』連載を書籍化。

朝日新聞 2024/01/27

2023:12./ 251p

978-4-594-09643-4

¥1,650〔税込〕



9 7 8 4 5 9 4 0 9 6 4 3 4



### 人種差別の習慣〜人種化された身体現象学〜

ヘレン・ンゴ 著

青土社

誰もが意図せずに行ってしまう/向けられている可能性を孕む「習慣的な人種差別」。メルロ=ポンティの現象学に軸を据えながら、差別する・される身体が多様なあり様を明らかにする。

朝日新聞 2024/01/27

2023:11./ 345p,12p

978-4-7917-7595-8

¥3,080〔税込〕



9 7 8 4 7 9 1 7 7 5 9 5 8



### ガウディさんとドラゴンの街

パウ・エストラダ 著

教育評論社

カサ・ミラ、サグラダ・ファミリア…。"ドラゴンの街"バルセロナには、建築家ガウディさんがつくった独創的な建物がたくさんあって…。モノづくりに打ちこんだガウディの一日を描く。

朝日新聞 2024/01/27

2023:12./ 42p  
978-4-86624-089-3

¥1,980〔税込〕



### 彰義隊、敗れて末のたいこもち～明治の名物幫間、松廼家露八の生涯～

目時 美穂 著

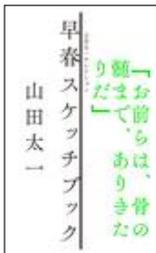
文学通信

武士から男芸者に転身した松廼家露八の本格評伝。幫間として生きながら、戦死した戦友たちの追悼に生涯心をくばり、死後は戦友たちの墓のある円通寺に亡骸をうずめることを望んだ、旧幕臣の内面を探る。

朝日新聞 2024/01/27

2023:11./ 375p  
978-4-86766-020-1

¥2,750〔税込〕



### 早春スケッチブック(山田太一セレクション)

山田 太一 著

里山社

「お前らは、骨の髄まで、ありきたりだ」 山田太一の名作ドラマ・セレクション。1983年にフジテレビで放映された同名ドラマのシナリオを収録。短編シナリオ「春日原まで一枚」、書き下ろしエッセイも掲載。

朝日新聞 2024/01/27

2016:12./ 399p  
978-4-907497-04-0

¥1,980〔税込〕



### ゆきのゆきちゃん

きくちちき 著

ミシマ社

寒い冬の日、外に散歩にでかけた、ねこのゆきちゃん。雪がふりしきる山のなか、森のどうぶつたちに「わたし、ゆきちゃん。雪と同じ名前なの。なんでか知ってる?」と自分の名前の由来をたずねてみると…。

朝日新聞 2024/01/27

2023:12./ 1冊(ページ付なし)

978-4-909394-97-2

¥2,750〔税込〕



### 耳梨～桐山太志句集～

桐山太志 著

ふらんす堂

滝淹に飴す茶屋の黒電話 光澄む馬鈴薯掘の地平かな 紫陽花や爪先で履く女下駄 朝霞茶山は峰を競はざる 芍薬や日は金色の雲の中 2013年から2023年初夏までの作品 292句を収めた第1句集。

朝日新聞 2024/01/28

2023:12./ 180p  
978-4-7814-1597-0

¥2,860〔税込〕





### 火山に馳す～浅間大変秘抄～

赤神 諒 著

KADOKAWA

天明の浅間山大噴火で壊滅的被害を被った鎌原村。観音堂に避難した93人だけが生き残った。幕府から派遣された勘定吟味役の根岸九郎左衛門は残された村人で家族を作り、故郷を再建しようとするも、住民達の心の傷は大きく...

東京・中日新聞 2024/01/06

2023:12./ 318p  
978-4-04-114432-9

¥2,090〔税込〕



### 鬼人幻燈抄<[14]> 平成編 泥中之蓮

中西モトオ 著

双葉社

平成22年。甚夜はついに、近代化によって居場所を奪われた鬼たちの救い主として崇められるようになっていたマガツメと対峙し...。江戸から平成まで、鬼と人の170年を物語る和風ファンタジーシリーズ第14巻。

東京・中日新聞 2024/01/06

2023:11./ 276p  
978-4-575-24697-1

¥1,430〔税込〕



### イスタンブル、イスタンブル

ブルハン・ソンメズ 著

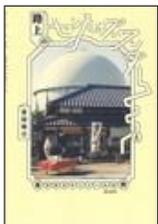
小学館

学生のデミルタイ、温厚なドクター、気難しい床屋のカモ、老人キュヘイラン。イスタンブルの地下牢獄の一室で苛烈な拷問を待つあいだ、彼らは互いに物語をして時を過ごし...。都市と人間の根源を問うトルコ発小説。

東京・中日新聞 2024/01/07

2023:10./ 303p  
978-4-09-356739-8

¥2,750〔税込〕



### 路上のセンス・オブ・ワンダーと遙かなるそこらへんの旅

宮田 珠己 著

亜紀書房

鉄塔、ガスタンク、暗渠、電線、配管...。散歩の先人たちのまなざしを行き来しながら歩くとき、見慣れた街は不思議の宇宙に変貌する。大自然の驚異ではなく、平凡な街の驚異に触れる旅エッセイ。『あき地』連載に加筆・修正。

東京・中日新聞 2024/01/07

2023:11./ 343p  
978-4-7505-1823-7

¥2,200〔税込〕



### ためさるる日～井上正子日記 1918-1922～

井上 迅 編

井上 正子 著

法蔵館

米騒動、スペイン風邪...。京都の町寺に育った百年前の女学生・井上正子が、12歳から16歳までの間に綴った日記。大正の転換期社会にある世の中を、多感な10代の視点で活写する。京都市全景パノラマ地図付き。

東京・中日新聞 2024/01/07

2023:11./ 459p  
978-4-8318-7759-8

¥3,080〔税込〕





## コスタリカ～「純粋な人生」と言いあう平和・環境・人権の先進国～

伊藤 千尋 著  
高文研

どうしたら平和や人権に満ちた世界をつくれるのか? 「軍隊を持たない国」中米・コスタリカの人びとの平和国家のつくり方、その価値観や国づくりを通して、平和、そして戦争とは何かを再考する。

東京・中日新聞 2024/01/07

2023:11./ 215p  
978-4-87498-862-6

¥1,980 [税込]



## おとな六法

アトム法律事務所／岡野武志 著  
インプレス

ゾンビを殺すのは犯罪? 他人の唐揚げに勝手にレモンをかけたら? YouTube で人気の岡野タケシ弁護士が法律を楽しく、かつ詳しく解説する。理解に役立つ条文や図表、動画を視聴できる QR コードも掲載。

東京・中日新聞 2024/01/13、朝日新聞 2024/01/27

2023:9./ 439p  
978-4-295-40877-2

¥1,958 [税込]



## 技術革新と不平等の 1000 年史<上>

ダロン・アセモグル／サイモン・ジョンソン 著  
早川書房

農法改良から産業革命、人工知能の進化まで。技術革新がどのような状況下で限られた社会エリート層にしか利益をもたらさなかったのか、もしくは、どのような状況下で広く繁栄をもたらしたのか、歴史を通じて明らかにする。

東京・中日新聞 2024/01/14

2023:12./ 326p  
978-4-15-210294-2

¥3,300 [税込]



## 技術革新と不平等の 1000 年史<下>

ダロン・アセモグル／サイモン・ジョンソン 著  
早川書房

農法改良から産業革命、人工知能の進化まで。技術革新がどのような状況下で限られた社会エリート層にしか利益をもたらさなかったのか、もしくは、どのような状況下で広く繁栄をもたらしたのか、歴史を通じて明らかにする。

東京・中日新聞 2024/01/14

2023:12./ 372p  
978-4-15-210295-9

¥3,300 [税込]



## BLANK PAGE～空っぽを満たす旅～

内田 也哉子 著  
文藝春秋

5年前、私は母と父をたてつづけに喪った…。大きな喪失を抱えて谷川俊太郎、小泉今日子、坂本龍一、シャルロット・ゲンズブールら 15 人と 1 対 1 で対峙して綴ったエッセイ集。『週刊文春 WOMAN』掲載を加筆し書籍化。

東京・中日新聞 2024/01/14

2023:12./ 288p  
978-4-16-391791-7

¥1,760 [税込]





### 一線の湖

砥上 裕将 著  
講談社

湖山賞をかけて千瑛と競った展覧会から2年-。大学3年生の霜介は進路に悩んでいた。次の一步が踏み出せないなか、亡き母が勤めていた小学校から水墨画教室の依頼を受けることになり…。「線は、僕を描く」の続編。

東京・中日新聞 2024/01/20

2023:12./ 349p  
978-4-06-533681-6

¥1,980〔税込〕



9 78 4065 336816



### 吉野朝残党伝

天野 純希 著  
潮出版社

後醍醐帝の後胤・玉川宮敦子、後鳥羽帝の後胤を称する鳥羽尊秀、そして馬借の少年・多聞。南朝の再興のための暗殺、奇襲、調略、破壊工作。ついに幕府は大軍を吉野へ差し向けるが…。『潮』連載を書籍化。

東京・中日新聞 2024/01/20

2023:12./ 451p  
978-4-267-02410-8

¥1,760〔税込〕



9 78 4267 024108



### 昭和の商店街遺跡、撮り倒した590箇所〜全国厳選108スポットの<ド渋>写真〜

石黒 謙吾 編  
山本 有著  
303 BOOKS

急速に減りつつある商店街。今撮らなければ、消えてしまう-。北海道から沖縄まで、商店街を巡る冒険をライフワークとする著者が、Twitterに投稿した全国590箇所の中から厳選した108箇所を写真と文章で紹介する。

東京・中日新聞 2024/01/20

2023:9./ 173p  
978-4-909926-27-2

¥1,650〔税込〕



9 78 4909 926272



### 沢田研二(朝日新書 939)

中川右介 著  
朝日新聞出版

絶大な人気がありながらも、分裂を迎えたザ・タイガース時代。事件、謹慎、紅白辞退の乱気流からレコード大賞獲得、紅白の大トリ…。空前絶後のスーパースター、沢田研二の華麗なる闘いの軌跡を描く。

東京・中日新聞 2024/01/21

2023:12./ 522p  
978-4-02-295246-2

¥1,760〔税込〕



9 78 4022 952462



### 証言雪崩遭難

阿部 幹雄 著  
山と溪谷社

科学は進歩し、雪崩発生メカニズムが明らかになっているのに雪崩事故はなくなる。雪氷学の専門家が、近年の7件の雪崩事故を徹底検証。雪崩発生メカニズムを解説し、遭難当事者の証言から事故の実像を解き明かす。

東京・中日新聞 2024/01/21

2023:11./ 285p  
978-4-635-14031-7

¥1,870〔税込〕



9 78 4635 140317



### 反資本主義～新自由主義の危機から<真の自由>へ～

デヴィッド・ハーヴェイ 著

作品社

地球沸騰時代、パンデミック、差別と分断、増大する地政学的リスク…。グローバル経済は、崩壊の危機を乗り越えられるのか？ 資本主義体制の問題点や社会主義的代替案への移行の可能性を論じる。「新自由主義」の続編。

東京・中日新聞 2024/01/21

2023:12./ 342p  
978-4-86182-839-3

¥3,520〔税込〕



### 物語 江南の歴史～もうひとつの中国史～(中公新書 2780)

岡本隆司 著

中央公論新社

楚・呉・越の争覇から、蜀の開発、六朝の繁華、唐・宋の発展、明の興亡、革命の有為転変まで、多彩な中国史を形成した江南は、いかにして東ユーラシア全域に冠絶した経済文化圏を築いたのか。中国の歴史を江南の視座から描く。

東京・中日新聞 2024/01/28

2023:11./ 14p,283p  
978-4-12-102780-1

¥1,100〔税込〕



### 情報公開が社会を変える～調査報道記者の公文書道～(ちくま新書 1761)

日野 行介 著

筑摩書房

役所の不正に立ち向かうとき、強力な武器となる情報公開制度。これまでに千件もの情報公開請求を行い、数々のスクープを伝えてきた調査報道記者が、一般市民に向けて、そのしくみとテクニックをわかりやすく伝授する。

東京・中日新聞 2024/01/28

2023:11./ 220p  
978-4-480-07591-8

¥968〔税込〕



### ミステリ・ライブラリ・インヴェスティゲーション～戦後翻訳ミステリ叢書 探訪～(KEY LIBRARY)

川出 正樹 著

東京創元社

日本の翻訳ミステリ叢書は、戦後国内で勃興したミステリ・ブームの一翼を担った。戦後から現代に至る翻訳ミステリ叢書と、その受容史を概観する。戦後翻訳ミステリ叢書・全集一覧も収録。

東京・中日新聞 2024/01/28

2023:12./ 469p  
978-4-488-01544-2

¥3,520〔税込〕



### 親密な手紙(岩波新書 新赤版 1993)

大江 健三郎 著

岩波書店

大江健三郎が、渡辺一夫、サイド、井上ひさし、オーデンなどを語る読書案内。自身の作品とともに日常の様々なできごとを描き、初めて大江作品に出会う人への誘いにもなる一冊。『図書』連載をもとに書籍化。

読売新聞 2024/01/07

2023:10./ 196p  
978-4-00-431993-1

¥968〔税込〕





### ブッタとシッタカブッタ～いのちのオマケ～<上>

小泉 吉宏 著

KADOKAWA

自分を笑えば、自分が見える。悩みや不安でカチカチに固まった「心」の筋肉をやわらかくする、1匹のブタが主人公の4コマ漫画。「ブッタとシッタカブッタ」シリーズ最新作。描きおろしに『調査情報』連載の一部を加える。

読売新聞 2024/01/07

2023:11./ 156p  
978-4-04-683094-4

¥1,650〔税込〕



### ブッタとシッタカブッタ～いのちのオマケ～<下>

小泉 吉宏 著

KADOKAWA

笑いとばせば、人生が見える。悩みや不安でカチカチに固まった「心」の筋肉をやわらかくする、1匹のブタが主人公の4コマ漫画。「ブッタとシッタカブッタ」シリーズ最新作。描きおろしに『調査情報』連載の一部を加える。

読売新聞 2024/01/07

2023:11./ 157p  
978-4-04-683096-8

¥1,650〔税込〕



### 世界史の中の戦国大名(講談社現代新書 2723)

鹿毛 敏夫 著

講談社

海に出たらやりたい放題!? 「王」を名乗って勝手に外交!? 中国へ、アジアへ、欧州へ海外進出した野心溢れる戦国大名たちの新たな貌を、グローバルヒストリーの視点から探る。

読売新聞 2024/01/07

2023:10./ 317p  
978-4-06-533218-4

¥1,210〔税込〕



### トゥルー・クライム・ストーリー(新潮文庫 ノ-1-4)

ジョセフ・ノックス 著

新潮社

女子大生が学生寮から姿を消して6年。イヴリンはこの事件の関係者への取材と執筆を開始。だが、拉致犯特定の証拠を入手後、彼女は帰らぬ人。作家仲間ノックスは、遺稿をもとに犯罪ノンフィクションを完成させるが....

読売新聞 2024/01/07

2023:9./ 696p  
978-4-10-240154-5

¥1,265〔税込〕



### ろくでもない英語の言い訳 300

中山 著

ダイヤモンド社

オフィスでの日常生活、アフター5、退職、転職活動...。仕事ができない社員、窓際族などによる非エリート風の言い訳や失敗を中心に、英語の例文をイラストとともに楽しく紹介する。英語の勉強の息抜きになる英語本。

読売新聞 2024/01/07

2023:10./ 191p  
978-4-478-11811-5

¥1,430〔税込〕





### 細部から読みとく西洋美術～めくるめく名作鑑賞 100～

スージー・ホッジ 著

フィルムアート社

絵画や彫刻を「もっとよく見たい」すべての美術ファンの好奇心に応えるビジュアルブック。ルネサンスから現代までの西洋美術の名作 100 点の細部に注目し、拡大図版とともに考察・分析する。

読売新聞 2024/01/07

2023:9./ 439p  
978-4-8459-2119-5

¥4,180〔税込〕



### 竹内芳郎 その思想と時代

池上 聡一 編

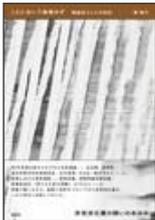
閨月社

戦争責任、天皇制、マルクス主義、国家、民主主義…。<戦後課題>へのラディカルで強靱な思索が、いまなお日本社会に反省を促す思想家・竹内芳郎。練達・気鋭の論者がその全体像に挑む、迫真の論集。

読売新聞 2024/01/07

2023:11./ 347p  
978-4-904194-50-8

¥3,960〔税込〕



### ことにおいて後悔せず～戦後史としての自伝～

菅 孝行 著

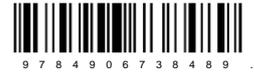
航思社

60 年安保以後のさまざまな社会運動と、表現における革新運動の両軸で闘いながら、物語と批評をつむいできた非党派左翼は、いかに時代と対峙してきたか。非党派左翼の闘いのあゆみを綴る。『映画芸術』連載を加筆し書籍化。

読売新聞 2024/01/07

2023:10./ 376p  
978-4-906738-48-9

¥3,850〔税込〕



### 行為としての読書～美的作用の理論～(岩波モダンクラシックス)

ヴォルフガング・イーザー 著

岩波書店

読書過程におけるテキストと読者の相互作用の関係を、詳細かつ理論的に解明・吟味し、文学研究における新たなパラダイムを提示する。

読売新聞 2024/01/14

2005:7./ 464p  
978-4-00-027133-2

¥7,370〔税込〕



### 本の葉にぶら下がる

斎藤 真理子 著

岩波書店

韓国文学翻訳の名手による読書エッセイ。埋もれた詩人や作家に光を当て、疫病や戦争に向き合ってきた経験を紐解くなど、韓国文学に止まらない古今の本を取り上げながら、その普遍性を今に開く。『図書』連載を加筆し単行本化。

読売新聞 2024/01/14

2023:9./ 212p  
978-4-00-061610-2

¥1,980〔税込〕





### 脳の中の幽霊(角川文庫)

V・S・ラマチャンドラン/サンドラ・ブレイクスリー 著  
角川書店

脳の世界を、当代きっての神経科学者であり、幻肢の専門家である著者が、独自の切り口でわかりやすく読み解いてみせた、歴史に残る名著!

2010:12./ 496p  
978-4-04-298211-1

¥1,012 [税込]



読売新聞 2024/01/14



### 敗者たちの平安王朝~皇位継承の闇~(角川ソフィア文庫 I172-1)

倉本 一宏 著  
KADOKAWA

平城天皇、陽成天皇、花山天皇...。皇位を追われた天皇たちの説話を彩る奇行と暴虐、狂気に秘められた真実とは。皇統の謎と錯綜する政治状況を丁寧に繙き、正史では語られることがなかった平安王朝の皇位継承の光と影に迫る。

2023:11./ 259p  
978-4-04-400791-1

¥1,232 [税込]



読売新聞 2024/01/14



### 赤ひげ診療譚 第2版(新潮文庫 や-3-5)

山本 周五郎 著  
新潮社

幕府の御番医という栄達の道を歩むべく長崎遊学から戻った保本登は、小石川養生所の“赤ひげ”とよばれる医長・新出去定の元、医員の見習勤務を命ぜられる。不本意な登は赤ひげに反抗するが...。医療小説の最高峰。

2019:2./ 414p  
978-4-10-113485-7

¥737 [税込]



読売新聞 2024/01/14



### 蛸足ノート

穂村弘 著  
中央公論新社

胃カメラの飲み方を褒められ、似合わない服装に赤面し、おばちゃんの会話術に学び、仔猫を飼い始める...。日常に予期せぬ笑いと魔法が絡みつくエッセイ集。『読売新聞』夕刊連載を単行本化。

2023:11./ 300p  
978-4-12-005714-4

¥1,980 [税込]



読売新聞 2024/01/14



### 本の神話学 増補新版(中公文庫 や 8-3)

山口昌男 著  
中央公論新社

書物に示される人間の知性の誕生と変転、豊かな運動の軌跡を神話学的な関係性の織物として再発見し、高次の思想的共鳴関係において連関する書物群や人物群を思い入れたっぷりに描き出す。関連原稿 3 篇を加えた増補新版。

2023:8./ 357p  
978-4-12-207408-8

¥1,320 [税込]



読売新聞 2024/01/14



### トゥモロー・アンド・トゥモロー・アンド・トゥモロー

ガブリエル・ゼヴィン 著  
早川書房

MITの学生セイディと、ハーヴァード大学に通うサムが苦勞の末、はじめて完成させたゲームは瞬く間に成功を収め、2人は一躍ゲーム界の寵児となる。だが、2人は次第に溝を深め、すれ違いを重ねていき...

読売新聞 2024/01/14

2023:10./ 559p  
978-4-15-210273-7

¥2,420〔税込〕



### スピノザの診察室

夏川 草介 著  
文藝春秋

京都の地域病院で働く内科医・雄町哲郎は、かつては大学病院で数々の難手術を成功させ、将来を囑望された凄腕医師だった。哲郎の力量に惚れ込んでいた大学准教授の花垣は、愛弟子の南茉莉を哲郎のもとに送り込むが...

読売新聞 2024/01/14

2023:10./ 287p  
978-4-16-401006-8

¥1,870〔税込〕



### ルネサンス経験の条件(文春学藝ライブラリー)

岡崎 乾二郎 著  
文藝春秋

フィレンツェのサンタ・マリア大聖堂を創造したブルネレスキ、ブランカッチ礼拝堂壁画を描いたマサッチオ...。ルネサンスの天才たちの作品の精緻な分析を通じて、芸術の使命と可能性を明らかにする。

読売新聞 2024/01/14

2014:2./ 463p  
978-4-16-813013-7

¥2,145〔税込〕



### わたしたちの親不孝介護～「親孝行の呪い」から自由になろう～

川内 潤 著  
日経BP社

親とは距離をとるほうが、親も自分もうまくいく。爆笑問題の太田光、歌手の高橋洋子ら各界の有名人8名が自らの「親不孝介護」、あるいは「親孝行介護による失敗」を、対談形式で語る。

読売新聞 2024/01/14

2023:11./ 279p  
978-4-296-20348-2

¥1,760〔税込〕



### 生まれ変わったらパリジェンヌになりたい

早川 茉莉 編  
淡谷 のり子 著  
河出書房新社

戦争中もモンペははずさず、口紅を濃く引き、ハイヒールも決して脱ぎとせず、軍歌も歌わなかった。ブルースの女王・淡谷のり子の名エッセイ。「あなたの正しいと思う道を歩みなさい」など、心に深く響く言葉を収録。

読売新聞 2024/01/14

2023:12./ 228p  
978-4-309-03162-0

¥1,760〔税込〕





**ベートーヴェン捏造〜名プロデューサーは嘘をつく〜(河出文庫 か43-1)**

かげはら 史帆 著  
河出書房新社

ベートーヴェンの晩年に、音楽活動や日常生活の補佐役をつとめていたシンドラ。彼はなぜ罪を犯し、どうやって隠し通したのか。音楽史上最大のスキャンダル「会話帳改竄事件」の全貌に迫る。栗原康の解説等を加えて文庫化。

読売新聞 2024/01/14

2023:11./ 361p  
978-4-309-42015-8

¥990〔税込〕



**だからタイは面白い〜暮らしてわかったタイ人の「素の顔」〜(光文社新書 1284)**

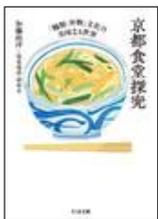
高田胤臣 著  
光文社

経済格差、階級社会、利己主義…。一筋縄ではいかぬ「裏の顔」があるからこそ、タイはますます面白い! タイで働き、タイ語を話し、タイ人と結婚して家庭を持つ著者が、ほんとうのタイとタイ人の姿を伝える。

読売新聞 2024/01/14

2023:11./ 214p  
978-4-334-10135-0

¥880〔税込〕



**京都食堂探究〜「麺類・丼物」文化の美味なる世界〜(ちくま文庫 か87-1)**

加藤 政洋 / 〈味覚地図〉研究会 著  
筑摩書房

きつねうどん、しっぽく、衣笠丼…。京都の食堂は歴史の中で、「麺類・丼物」を中心に独自の発展を遂げてきた。食いしん坊の地理学者たちが店に足を運び、味わい、観察し、謎多き京都の食堂文化に迫る。

読売新聞 2024/01/14

2023:11./ 214p  
978-4-480-43920-8

¥880〔税込〕



**講談事典**

瀧口 雅仁 著  
丸善出版

講談初心者でも気軽に引くことができる鑑賞事典。約600編の講談のあらすじとその解説をはじめ、近世から現代までの主な講談師(故人、引退、現役)と講談の歴史、ならびに講談の基礎知識を収録。

読売新聞 2024/01/14

2023:10./ 4p,376p  
978-4-621-30833-2

¥6,600〔税込〕



**薔薇のイコノロジー 新・新装版**

若桑みどり 著  
青土社

一輪の薔薇に封印されたイメージが、個人を、時代を、そして洋の東西を越えて人類に共有される。愛と生命の寓意・象徴として咲き誇る薔薇の花園で紡がれた、意外の精神史。若桑イコノロジーの画期的出発点。

読売新聞 2024/01/14

2020:5./ 390p  
978-4-7917-7279-7

¥3,960〔税込〕





### 日本帝国圏鉄道史～技術導入から東アジアへ～

沢井 実 著

名古屋大学出版会

帝国日本の「骨格」はいかに形成されたのか。欧米から吸収した最先端の鉄道技術が外地において実践され、戦後へとつながる一大鉄道ネットワークの構築に至る歩みを、人的資源の移転を軸に隅々まで捉え、鉄道史を描き直す。

読売新聞 2024/01/14

2023:10./ 5p,332p  
978-4-8158-1135-8

¥6,380〔税込〕



9 78 4815 811358



### なんで日本研究するの？

シュミット 堀佐知 編

江口 啓子／マーク・ブックマン／末松 美咲／セツ・シゲマツ／ディラン・ミギー／クリストファー・ローウィ／佐々木 孝浩／日比 嘉高 著

文学通信

「言葉の壁・方法論の谷・技術という橋」「エンパワーメントとしての知の創造」など4つのテーマで、9人の日本研究者たちが「なんで日本研究するの?」という問いへの答えを綴る。

読売新聞 2024/01/14

2023:10./ 303p  
978-4-86766-019-5

¥2,640〔税込〕



9 78 4867 660195



### 老化は治療できるか(文春新書 1432)

河合 香織 著

文藝春秋

世界中のIT長者たちが巨額の資金を投入している老化制御ビジネス。はたして不老不死は可能なのか? 人は何歳まで生きられるのか? 若返りを可能にする究極の物質はあるのか? アンチエイジング研究の最前線を追う。

読売新聞 2024/01/14、日本経済新聞 2024/01/20

2023:11./ 217p  
978-4-16-661432-5

¥990〔税込〕



9 78 4166 614325



### 「がん」はどうやって治すのか～科学に基づく「最良の治療」を知る～(ブルーバックス B-2247)

国立がん研究センター 編

講談社

治療を受ける前の検査から治療方針の決め方、手術、放射線治療、薬物・免疫療法といった治療法とそのしくみ、ゲノム医療まで。最新情報を踏まえつつ、臨床の現場で行われているがんの診断・治療のアルゴリズムを紹介する。

読売新聞 2024/01/21

2023:12./ 326p  
978-4-06-534039-4

¥1,320〔税込〕



9 78 4065 340394



### セカンドキャリア～引退競走馬をめぐる旅～

片野 ゆか 著

集英社

レースで走る馬たちは、この後どこへ行くのだろうか...? 競馬業界の未来と社会をつなぐプロジェクトが動き出す! 馬を愛してやまない人々の活動現場に迫ったルポルタージュ。『青春と読書』連載を加筆・修正。

読売新聞 2024/01/21

2023:12./ 313p  
978-4-08-771854-6

¥2,200〔税込〕



9 78 4087 718546



### 十の輪をくぐる(小学館文庫 つ14-1)

辻堂 ゆめ 著  
小学館

認知症の80歳の母を自宅で介護しながら、妻とバレーボール部で活躍する高2の娘と暮らす泰介。ある時、母が「私は...東洋の魔女」と呟いた。母が隠していた「家族の過去」とは...

読売新聞 2024/01/21

2023:12./ 472p  
978-4-09-407318-8

¥979〔税込〕



### 帆神〜北前船を馳せた男・工楽松右衛門〜(新潮文庫 た-51-15)

玉岡 かおる 著  
新潮社

播州高砂の漁師から身を起し、大胆不敵な船乗りとして名を揚げた松右衛門。海商にのし上がり、やがて北前船の帆を革命的に改良して、江戸海運を一変させ...。知られざる快男児を活写する長編歴史小説。

読売新聞 2024/01/21

2023:12./ 617p  
978-4-10-129625-8

¥1,045〔税込〕



### にがにが日記

岸 政彦 著  
新潮社

生活史研究で知られ、大阪と沖縄、そして音楽に魅せられた社会学者が綴る、発見と内省、諧謔と哀切に満ちた日記。『新潮』『考える人』掲載に、最愛の猫とのかけがえのない日々を書き下ろした「おはぎ日記」を併録。

読売新聞 2024/01/21

2023:10./ 347p  
978-4-10-350724-6

¥2,200〔税込〕



### それでも母親になるべきですか

ベギー・オドネル・ヘフィントン 著  
新潮社

かつて当たり前の存在だった「子のない女性」は、いつから「解決すべき問題」になったのか。産業革命や戦争、不景気、宗教、環境問題、医療などが、いかに女性の人生を翻弄し、その選択を変化させてきたかを描き出す。

読売新聞 2024/01/21

2023:11./ 259p,27p  
978-4-10-507371-8

¥2,200〔税込〕



### バロック美術〜西洋文化の爛熟〜(中公新書 2776)

宮下規久朗 著  
中央公論新社

豪華絢爛で躍動感あふれる表現を特徴とするバロックの建築・彫刻・絵画。美術史上の位置づけ、聖俗の権力がせめぎ合う時代背景など、バロック美術の本質を名作紹介とともにたどる。カラー写真も200点以上収録。

読売新聞 2024/01/21

2023:10./ 9p,318p  
978-4-12-102776-4

¥1,375〔税込〕





### 時の睡蓮を摘みに

葉山 博子 著  
早川書房

1936年、父が綿花貿易を営む仏領インドシナのハノイへと渡った滝口鞠。猛勉強の末、外務書記生・植田の助力もあってハノイ大学への入学を果たし、地理学を学ぶことに。そんな矢先、植田が敵兵に拉致されたとの報が届き...

読売新聞 2024/01/21

2023:12./ 381p  
978-4-15-210296-6

¥2,090 [税込]



### 「正義」のバブルと日本経済(日経プレミアシリーズ 504)

藤井彰夫 著  
日経BP社

銀行救済に税金投入はけしからん、人口減少は国家的危機-。反対しづらい「正義」の言説が、経済をいかに歪めてきたか。人々の心をつかみ世の中を動かす「正義」のナラティブ<物語>から、日本経済長期停滞を読み解く。

読売新聞 2024/01/21

2023:11./ 214p  
978-4-296-11873-1

¥1,100 [税込]



### 見上げてごらん夜の星を〜音楽プロデューサー草野浩二伝〜

草野浩二 著  
シンコーミュージック・エンタテイメント

カバー・ポップスの全盛時代を作り、邦楽ポップスの黄金期を築いた音楽プロデューサー・草野浩二。その数々の作品、関わり合ったレジェンドたち、激動した音楽シーンについて徹底的に語り下ろす、昭和歌謡ファン垂涎の書。

読売新聞 2024/01/21

2023:12./ 190p  
978-4-401-65380-5

¥2,420 [税込]



### コスチュームジュエリー〜美の変革者たち〜

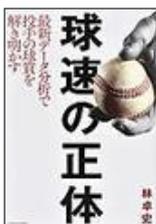
小瀧 千佐子 著  
世界文化社

セレブリティをとりこにしたコスチュームジュエリー。シャネル、スキャパレッリ、ディオールのモード界を代表する3人の初期作品群などのクチュールジュエリーを中心に、ヨーロッパ、アメリカの華麗な作品を写真で紹介する。

読売新聞 2024/01/21

2023:10./ 207p  
978-4-418-23215-4

¥2,970 [税込]



### 球速の正体〜最新データ分析で投手の球質を解き明かす〜

林卓史 著  
東洋館出版社

個人の感覚や経験に頼っていた野球の投球の分析が、テクノロジーによる可視化で劇的に進歩した! 投球タイプ別に投げ方の特徴、相性の良い変化球、コーチングで注意する点を解説。データ活用の最新事例も紹介する。

読売新聞 2024/01/21

2023:11./ 262p  
978-4-491-05303-5

¥1,980 [税込]





### 産業・労働社会における人間関係～パーソナルネットワーク・アプローチによる分析～

石田 光規 著  
日本評論社

パーソナルネットワーク・アプローチを用いて、現在の産業・労働社会において結びあれる人間関係の諸相を分析し、それらが働いている人びとの仕事生活にどのような影響を及ぼすのか検討する。

読売新聞 2024/01/21

2009:11./ 208p  
978-4-535-55623-2

¥4,950〔税込〕



### 一八〇秒の熱量(双葉文庫 や 42-01)

山本草介 著  
双葉社

2013年1月。ミドル級の平凡なボクサー・米澤重隆は年齢制限による引退を目前に控えていた。現役を続けるために、米澤は日本チャンピオンを目指す。9か月の命がけでクレイジーな挑戦を追った熱すぎるノンフィクション。

読売新聞 2024/01/21

2023:12./ 331p  
978-4-575-71500-2

¥825〔税込〕



### ウール 100%～完全版～

フジモトマサル 著  
平凡社

「神さま今日もわたしは幸せでした。こんな時代に、ストレスがないって変ですか？」ひとり暮らしの楽道家ひつじ OL ドリーのフツの生活を描いた癒しコミック。

読売新聞 2024/01/21

2023:11./ 109p  
978-4-582-28858-2

¥2,420〔税込〕



### ヤーコブソン/レヴィ=ストロース往復書簡～1942-1982～

E・ロワイエ/P・マングリエ 編  
ロマン・ヤーコブソン/クロード・レヴィ=ストロース 著  
みすず書房

20世紀の偉大な知性、言語学者ヤーコブソンと、人類学者レヴィ=ストロース。生涯の友情に結ばれ交わした書簡群を書籍化。<構造主義>が生成する現場に光を投じる。関連テキスト精選8点も収録。

読売新聞 2024/01/21

2023:11./ 465p  
978-4-622-09658-0

¥8,800〔税込〕



### 死生観を問う～万葉集から金子みすゞへ～(朝日選書 1037)

島菌 進 著  
朝日新聞出版

古代から現代に至るまでの生活文化と日本の文芸のなかから、「魂のふるさと」「無常」「桜」「うき世」などのモチーフに注目して、死生観の表現を拾い上げ、現代人の死生観を問い直す手がかりにする。

読売新聞 2024/01/28

2023:10./ 335p  
978-4-02-263128-2

¥1,870〔税込〕





### 歴史をさわがせた女たち<日本篇>(朝日文庫 な 57-2)

永井路子 著

朝日新聞出版

卑弥呼・持統天皇・紫式部・北条政子・淀君・北政所など、古代から江戸時代まで日本史を動かした魅力的な女性 33 人を深掘りする。史実に基づきながら、ユーモアをまじえて綴った歴史エッセイ集。

読売新聞 2024/01/28

2022:11./ 316p  
978-4-02-265076-4

¥946〔税込〕



9 78 40 22 65 07 64



### この世をば~藤原道長と平安王朝の時代~<上>(朝日文庫 朝日時代小説文庫 な 57-5)

永井路子 著

朝日新聞出版

藤原兼家の三男に生まれた道長は、才気溢れる長兄の道隆、野心家の次兄の道兼に比べて、平凡で目立たない存在だった。左大臣の娘・倫子と結婚、そして父の死により、出世競争の道走り始め…。平安王朝の貴族社会を描く。

読売新聞 2024/01/28

2023:11./ 534p  
978-4-02-265128-0

¥1,210〔税込〕



9 78 40 22 65 12 80



### この世をば~藤原道長と平安王朝の時代~<下>(朝日文庫 朝日時代小説文庫 な 57-6)

永井路子 著

朝日新聞出版

優秀な兄たちが病死、長兄の子・伊周との政争にも勝利。やがて一条天皇のもとへ長女彰子を内入させ、のちの後一条天皇が生まれ、藤原道長は権力を握り…。紫式部や清少納言らも鮮やかに描いた王朝歴史小説。

読売新聞 2024/01/28

2023:11./ 529p  
978-4-02-265129-7

¥1,210〔税込〕



9 78 40 22 65 12 97



### 寂光院残照(角川文庫 時-な 6-1)

永井 路子 著

KADOKAWA

寂光院に隠棲した建礼門院のもとに、後白河法皇が姿を見せる。一切の罪悪も感じない様に対し、驚くほど冷静な女院は…。表題作のほか、義経追討に名を挙げた男の顛末を描いた「土佐房昌俊」「頼朝の死」など全 6 編を収録する。

読売新聞 2024/01/28

2022:1./ 243p  
978-4-04-112073-6

¥704〔税込〕



9 78 40 41 12 07 36



### 風が吹いたり、花が散ったり(講談社文庫 あ 133-6)

朝倉 宏景 著

講談社

彼女は俺を信じている。俺は彼女に嘘をついている…。視覚障害のある女性ランナー・さちの伴走者として未体験のマラソン距離に挑む 19 歳のフリーター・亮磨。不器用な若者たちを描く青春小説。

読売新聞 2024/01/28

2023:12./ 380p  
978-4-06-534084-4

¥891〔税込〕



9 78 40 06 53 40 84 4



**弟は僕のヒーロー(小学館文庫 マ 8-1)**

ジャコモ・マツアリオール 著  
小学館

僕は5歳のとき、パパとママから弟が生まれると聞かされ、大喜びした。しかも、どうやら弟は「特別」らしい。僕はだんだん「特別」の意味を知り…。19歳の青年が、ダウン症候群の弟との生活を描いた愛と成長の記録。

読売新聞 2024/01/28

2023:12./ 317p  
978-4-09-407285-3

¥1,100〔税込〕



**掌の小説 新版(新潮文庫 か-1-5)**

川端 康成 著  
新潮社

祖父の火葬をあつかった自伝的な「骨拾い」、砕け散ってしまった観音像を巡る「弱き器」など、内容のゆたかさ、心理の複雑さ、人間性にせまる鋭さに満ちた、作家・川端康成のあらゆる要素がふくまれた短編全122編を収録。

読売新聞 2024/01/28

2022:4./ 652p  
978-4-10-100241-5

¥1,045〔税込〕



**いつかたこぶねになる日(新潮文庫 お-115-1)**

小津 夜景 著  
新潮社

杜甫や李賀、白居易といった古典から、新井白石や夏目漱石など日本の漢詩人たちの作品、中国近代の詩人まで、フランス在住の俳人・小津夜景が、漢詩のある日々の暮らしをつづる。

読売新聞 2024/01/28

2023:11./ 254p  
978-4-10-104721-8

¥693〔税込〕



**ぼんち 改版(新潮文庫)**

山崎 豊子 著  
新潮社

古い暖簾を誇る足袋問屋の一人息子喜久治は「ぼんぼんになったらあかん、ぼんちになりや。男に騙されても女に騙されてはあかん」という死際の父の言葉を金科玉条として生きようと決意する。

読売新聞 2024/01/28

2005:8./ 649p  
978-4-10-110402-7

¥1,045〔税込〕



**沈まぬ太陽<1> アフリカ篇(上)(新潮文庫)**

山崎 豊子 著  
新潮社

読売新聞 2024/01/28

2001:11./ 409p  
978-4-10-110426-3

¥781〔税込〕





### 毛沢東～革命と独裁の原点～

興梠一郎 著  
中央公論新社

毛沢東が暴力革命を選んだツケを、中国は今日まで払い続けている-。若き毛沢東が共産主義者になる前に書いた手紙、新聞記事、論考および旧ソ連の史料など膨大な資料を駆使し、独裁国家のルーツを明らかにする。

読売新聞 2024/01/28

2023:12./ 444p  
978-4-12-005720-5

¥3,300〔税込〕



### 大地の子<1>(文春文庫)

山崎 豊子 著  
文芸春秋

日本人戦争孤児で、中国人の教師に養育された陸一心。肉親の情と中国への思いの間で揺れる青年の苦難の旅路を、戦争や文化大革命などの歴史を背景に壮大に描く大河小説。

読売新聞 2024/01/28

1994:1./ 387p  
978-4-16-755601-3

¥759〔税込〕



### 北条政子 新装版(文春文庫 な 2-55)

永井 路子 著  
文芸春秋

伊豆の豪族北条時政の娘に生まれ、流人源頼朝に恋をした政子。やがて御台所になった政子は、一族や有力御家人達の間で自らの愛憎の深さに思い悩み…。歴史の激流にもまれつつ生きた女を描いた歴史長編。

読売新聞 2024/01/28

2021:1./ 595p  
978-4-16-791625-1

¥1,067〔税込〕



### 騙る(文春文庫 く 9-15)

黒川 博行 著  
文芸春秋

技術の粋を集めて作ったヴィンテージアロハの精巧な偽物売り捌く男は、やがて…。「ヒタチャロイヤル」をはじめ、「上代裂」「乾隆御墨」など、古美術業界のもうけ話にたかる人々を描いた、ミステリー連作集。

読売新聞 2024/01/28

2023:12./ 319p  
978-4-16-792137-8

¥803〔税込〕



### 世界はひとりの、一度きりの人生の集まりにすぎない。

林 伸次 著  
幻冬舎

片想いしか知らない。一度しか会えなかった。気持ちはずっと届かない。渋谷のバー・ボッサ店主が描く、思い通りにならない人生を救うショートストーリー集。

読売新聞 2024/01/28

2023:10./ 198p  
978-4-344-04185-1

¥1,870〔税込〕





「人生、こんなはずじゃなかった」の嘆き(幻冬舎新書 か-33-1)

加藤 諦三 著  
幻冬舎

「老いて幼稚な人」「晩節を汚す人」にならないためには。普通の暮らしに感謝する、他者との比較をやめ、執着しないなど、人生の見方を変え、老いを輝かせて幸福を引き寄せる考え方・生き方を伝える。

2023:11./ 229p  
978-4-344-98712-8

¥1,034 [税込]



読売新聞 2024/01/28



不夜島

荻堂頭 著  
祥伝社

第二次世界大戦終結後、米軍占領下の与那国島では、ありとあらゆるものが売買される密貿易が行われていた。腕利きのサイボーグ密貿易人・武庭純は、謎のアメリカ人女性から「“含光”を手に入れろ」という奇妙な依頼をされ....

2023:12./ 415p  
978-4-396-63658-6

¥1,980 [税込]



読売新聞 2024/01/28



デウスの城

伊東 潤 著  
実業之日本社

彦九郎と善太夫、左平次は、幼馴染のキリシタン侍。関ヶ原の戦いに敗れて主家を失い、全く別の道を歩むことになった3人は、島原の乱で敵同士となり再会を果たし...。Web ジェイ・ノベル連載を加筆し単行本化。

2023:11./ 574p  
978-4-408-53845-7

¥2,530 [税込]



読売新聞 2024/01/28



エヴァーグリーン・ゲーム

石井 仁蔵 著  
ポプラ社

世界有数の頭脳スポーツでありながら、日本ではまだ競技人口の少ないチェス。その魅力にとりつかれた、4人の若者たち。彼らは、己のすべてをかけて盤上の戦いに挑む。命懸けの勝負の行方は-!?

2023:10./ 361p  
978-4-591-17943-7

¥1,870 [税込]



読売新聞 2024/01/28



ミミズの農業改革

金子信博 著  
みすず書房

土壌生態系は長い間土を維持してきたが、人が農耕によって土に介入し始めると土壌劣化が始まった。耕さない農業は可能なのだろうか。ミミズをはじめとする土壌生態系と作物を共存させる、これからの再生型農業を提案する。

2023:12./ 204p,12p  
978-4-622-09640-5

¥3,300 [税込]



読売新聞 2024/01/28



## 方言漢字事典

笹原 宏之 著  
研究社

各地に存在する地域性をもつ漢字 120 字を収録。地名や姓だけではなく、地域の風物に密着した漢字も取り上げる。漢字の背景にある、その土地の風土・歴史・伝承などを知ることによって、漢字の多様性に触れる。

読売新聞 2024/01/28

2023:10./ 15p,273p  
978-4-7674-5025-4

¥2,970〔税込〕



## ビル・エヴァンス・トリオ最後の二年間

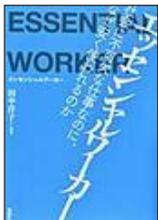
ジョー・ラ・バーベラ／チャールズ・レヴィン 著  
草思社

ジャズピアノの世界に圧倒的な影響を与えた巨匠ビル・エヴァンス。そのラスト・トリオのドラマーがエヴァンスとの思い出、そして最期を迎えるまでの日々を綴る。限りなく深い敬愛に満ちた感動的な回想記。

読売新聞 2024/01/28

2023:12./ 316p  
978-4-7942-2687-7

¥2,640〔税込〕



## エッセンシャルワーカー～社会に不可欠な仕事なのに、なぜ安く使われるのか～

田中洋子 著  
旬報社

スーパー従業員、介護士、ごみ収集作業員といったエッセンシャルワーカーが安く使われている現実とその変化を分析し、それが生み出された歴史的要因を考察。社会に不可欠な仕事の処遇がなぜ悪いのかという疑問にこたえる。

読売新聞 2024/01/28

2023:11./ 392p  
978-4-8451-1849-6

¥2,750〔税込〕



## 動物園のなにげない一日<続>

みやこし さとし 著  
創風社出版

愛媛県立とべ動物園で働く飼育係が、日々動物たちや身近な野生動物、お客さんとのかわりの中で体験した出来事などを紹介する。機関誌『とべZOO』連載漫画に描きおろしを加えて単行本化。

読売新聞 2024/01/28

2023:11./ 103p  
978-4-86037-338-2

¥990〔税込〕



## 新世界より

オカダキサラ 著  
クラークンラボ

何気ない日常のなかにある偶然のかさなりから生じる、奇跡的な“瞬間”をとらえる写真家・オカダキサラの初の作品集。全 100 点の写真を独特な視点から綴ったテキストとともに収録する。

読売新聞 2024/01/28

2023:12./ 199p  
978-4-910315-32-4

¥3,960〔税込〕



孫子 新訂(岩波文庫 青 207-1)

岩波書店

『孫子』13篇は、中国最古のすぐれた兵書である。しかし、そこに記された戦略・戦術の論議における深遠な洞察は、ひろく人生全般の問題に適用しうるものである。新出土の竹簡資料との照合も経て、またさらに読みやすくなった新訂版。

日本経済新聞 2024/01/06

2000:4./ 202p  
978-4-00-332071-6

¥726〔税込〕



星空をつくる機械〜プラネタリウム 100 年史〜

井上 毅 著

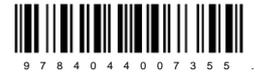
KADOKAWA

1923年10月、近代プラネタリウム第1号がドイツで生まれた。「宇宙への扉」をすべての人に開いたプラネタリウムの世紀、その知られざる物語とは？プラネタリウムの仕組みと歴史を第一人者がときあかす。

日本経済新聞 2024/01/06

2023:10./ 270p,4p  
978-4-04-400735-5

¥2,640〔税込〕



二重らせん〜DNAの構造を発見した科学者の記録〜(ブルーボックス B-1792)

ジェームス・D・ワトソン 著

講談社

DNAのらせん構造はどのように発見されたか。共同発見者のクリック、ウィルキンズらとの出会いから、「多才な巨人」ポーリングの猛追をかわして二重らせん構造の発見にいたるまで、その舞台裏をワトソン博士が赤裸々に綴る。

日本経済新聞 2024/01/06

2012:11./ 245p  
978-4-06-257792-2

¥1,100〔税込〕



幻のレコード〜検閲と発禁の「昭和」〜

毛利 眞人 著

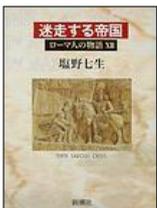
講談社

文字は取り締まれても、音声に権力の網はかけられるのか。音声メディアにおいてまなお続く「指導」と「自主規制」の巧妙にして隠微な構造や、業界の自主規制の実態に迫る。

日本経済新聞 2024/01/06

2023:10./ 365p  
978-4-06-532257-4

¥2,310〔税込〕



ローマ人の物語<12> 迷走する帝国

塩野 七生 著

新潮社

ローマはもはや、危機を糧とし発展しつづける覇者ではなくなっていた。経済は低迷し蛮族の進入が相次ぐ中、皇帝はめまぐるしく入れ変わる。帝国の衰退を決定付けた「危機の三世紀」の実相に迫る。

日本経済新聞 2024/01/06

2003:12./ 351p,15p  
978-4-10-309621-4

¥3,300〔税込〕





### ローマ人の物語<13> 最後の努力

塩野 七生 著

新潮社

未曾有の混乱から帝国を立て直そうとした2人の皇帝、だが彼らの努力はローマから「ローマらしさ」を奪っていく。第13巻では3世紀末から4世紀前半の50年間の物語を描く。塩野版ローマ帝国衰亡史、いよいよ核心へ。

日本経済新聞 2024/01/06

2004:12./ 296p,5p  
978-4-10-309622-1

¥2,860 [税込]



### ローマ人の物語<14> キリストの勝利

塩野 七生 著

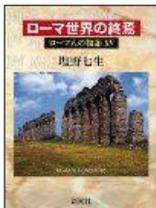
新潮社

4世紀末、ローマの針路を大きく変えたのは、皇帝ではなくひとりの司教であった。ローマ帝国はついにキリスト教に呑み込まれる。帝国衰亡を決定的にした、キリスト教国教化の真相に迫る。

日本経済新聞 2024/01/06

2005:12./ 306p,7p  
978-4-10-309623-8

¥2,860 [税込]



### ローマ人の物語<15> ローマ世界の終焉

塩野 七生 著

新潮社

歴史に比類なき大帝は、いつ、どのようにして滅んだのか。ローマが「なぜ」よりも「どのように」衰亡していったのかに重点を置いて描く。1300年に及ぶ古代ローマ興亡のドラマの完結編。

日本経済新聞 2024/01/06

2006:12./ 405p,18p  
978-4-10-309624-5

¥3,300 [税込]



### 遺伝と平等～人生の成り行きは変えられる～

キャスリン・ペイジ・ハーデン 著

新潮社

生まれつきの違いを武器とできれば、人生は変えられる! 遺伝と学歴の関係や双子の研究をしてきたアメリカの研究者が、科学と社会をビッグデータでつなぎ「新しい平等」を指向する、遺伝学の成果を解説する。

日本経済新聞 2024/01/06

2023:10./ 387p,10p  
978-4-10-507351-0

¥3,300 [税込]



### 自動車の世界史～T型フォードからEV、自動運転まで～(中公新書 2778)

鈴木均 著

中央公論新社

1908年にT型フォードがアメリカで爆発的に普及したのを機に、開発競争が激化した自動車産業。その黎明期から、日本車の躍進、低燃費・EV・自動運転の時代における中国の台頭まで、100年の激闘を活写する。

日本経済新聞 2024/01/06

2023:11./ 5p,300p  
978-4-12-102778-8

¥1,056 [税込]





### 三体

劉 慈欣、大森 望、光吉 さくら、ワン チャイ、立原 透耶 著  
早川書房

物理学者の父を文化大革命で亡くし、人類に絶望した中国人エリート科学者・葉文潔。ある日、彼女は謎めいた軍事基地にスカウトされる。そこでは、人類の運命を左右するかもしれないプロジェクトが極秘裏に進行していて...

日本経済新聞 2024/01/06

2019:7./ 447p  
978-4-15-209870-2

¥2,090〔税込〕



9 784152 098702

### 私は闘う

野中 広務 著  
文藝春秋

日本経済新聞 2024/01/06

1996:5./ 229p  
978-4-16-351590-8

¥1,494〔税込〕



9 784163 515908



### アジア発酵紀行

小倉 ヒラク 著  
文藝春秋

チベットのサバイバル食「バター茶」、漢方麴でつくるリス族の白酒、謎の“インドなれずし”...。 壮大なスケールでアジアの発酵文化の源流を浮き彫りにする。『オール讀物』連載に加筆修正。

日本経済新聞 2024/01/06

2023:11./ 287p 図版 8  
枚

978-4-16-391777-1

¥1,760〔税込〕



9 784163 917771



### お帰りキネマの神様(文春文庫 は40-7)

原田 マハ 著  
文藝春秋

「キネマの神様」映画化に際し、監督・山田洋次は自身の若き日を重ねて脚色。その映画に感銘を受けた原作者・原田マハが自らノベライズ。映画を愛する全ての人に捧げる物語。

日本経済新聞 2024/01/06

2023:11./ 190p  
978-4-16-792124-8

¥660〔税込〕



9 784167 921248



### 私が見てきた日本経済〜THE LIFE OF AN ECONOMIST〜

小峰隆夫 著  
日経B P社

経済白書完成までの攻防、経済計画作成の舞台裏、経済分析をめぐる論争...。40年以上にわたり日本経済の課題に対峙してきたエコノミストが、官庁の知られざるドラマをエピソードを交えて生き生きと描く日本経済秘史。

日本経済新聞 2024/01/06

2023:10./ 394p  
978-4-296-11915-8

¥3,960〔税込〕



9 784296 119158



### 自分以外全員他人

西村 亨 著  
筑摩書房

マッサージ店で勤務する柳田譲、44歳、独身。傷つきやすく人付き合いが苦手な彼の心を迷惑な客や俗悪な同僚、老いた母や義父が削り取っていく。自死することだけが希望となった柳田をさらに世界の凶らざる悪意が翻弄する。

日本経済新聞 2024/01/06

2023:11./ 145p  
978-4-480-80515-7

¥1,540〔税込〕



### 失敗の研究～巨大組織が崩れるとき～(日経ビジネス人文庫 か17-1)

金田 信一郎 著  
日本経済新聞出版社

なぜ、巨大組織が不祥事を繰り返しているのか。長年、経済事件を追い続けてきた記者が、マクドナルド、ベネッセなどの失敗事例を取り上げ、組織崩壊のメカニズムを解明する。

日本経済新聞 2024/01/06

2017:12./ 348p  
978-4-532-19844-2

¥880〔税込〕



### 私たちはいつから「孤独」になったのか

フェイ・バウンド・アルバーティ 著  
みすず書房

“21世紀の疫病”と呼ばれる「孤独」。対処の第一歩は、それが人間の本質的条件であるという見方を疑うことである。ネガティブな欠乏感としての「孤独」が近代において誕生し、複雑な感情群となるその歴史をひもとく。

日本経済新聞 2024/01/06

2023:11./ 344p  
978-4-622-09655-9

¥4,620〔税込〕



### 日本女性のライフコース～平成・令和期の「変化」と「不変」～

樋口 美雄／田中 慶子／中山 真緒 編  
慶應義塾大学出版会

女性にとっての結婚・出産・育児、キャリア形成、非正規雇用などの働き方、夫婦関係のバランス、家計行動などを30年に及ぶパネル調査を通じて精緻に分析。日本女性と家族の暮らし・仕事の変化、政策の効果と限界を検証する。

日本経済新聞 2024/01/06

2023:10./ 10p,266p  
978-4-7664-2921-3

¥2,420〔税込〕



### 時のきざし～現代中華 SF 傑作選～

立原 透耶 編  
江 波／何 夕 著  
新紀元社

中国語文化圏 SF の「いま」を伝えるアンソロジー。眉村卓に比肩する王晋康の「七重の SHELL」、風刺が効いた掌編を綴る韓松の「地下鉄の驚くべき変容」など、全17編を収録する。

日本経済新聞 2024/01/06

2020:6./ 477p  
978-4-7753-1828-7

¥2,420〔税込〕





### 昆虫カメラマン、秘境食を味わう～人は何を食べてきたか～(インターナショナル新書 133)

山口 進 著

集英社インターナショナル

珍しい昆虫や植物の写真で人々を驚かし、感動させてきたカメラマン・山口進。その撮影の裏には…。秘境で出会った衝撃の食文化を中心に、辺境での冒険譚を写真とともに綴る。『集英社クオーターリーkotoba』連載を書籍化。

日本経済新聞 2024/01/06

2023:12./ 205p  
978-4-7976-8133-8

¥946 [税込]



### 世界の取扱説明書～理解する/予測する/行動する/保護する～

ジャック・アタリ 著

プレジデント社

2050年の世界はどうなっているのか。歴史を儀礼秩序・帝国秩序・商秩序(現在)の3つの時代に分割して考察し、世界の仕組みと近未来に待ち受ける3つの脅威、歴史の流れを修正する斬新な世界の取扱説明書を明らかにする。

日本経済新聞 2024/01/06

2023:10./ 261p,8p  
978-4-8334-2512-4

¥2,970 [税込]



### 霞が関半生記～5人の総理を支えて～ 新装増訂刷

古川 貞二郎 著

佐賀新聞社

官僚トップとして村山内閣から小泉内閣まで5人の総理の側で日本の政治に参画してきた著者が、国民の目に触れることがなかった霞が関官僚の実像を語る。

日本経済新聞 2024/01/06

2011:3./ 256p  
978-4-88298-178-7

¥2,095 [税込]



### 南方ノート・戦後日記

大佛次郎記念館 編

大佛次郎 著

未知谷

大佛次郎が、昭和18年11月から3ヶ月、同盟通信社の囑託として南方(現シンガポールなど)視察に赴いた際に記した6冊の大学ノートと、昭和21年3月～25年8月に断続的に記した8冊の日記群を収録。人名索引付き。

日本経済新聞 2024/01/06

2023:8./ 350p  
978-4-89642-695-3

¥3,960 [税込]



### 悼むひと～元兵士と家族をめぐるオーラル・ヒストリー～

遠藤 美幸 著

生きのびるブックス

戦没した仲間への哀惜、「勇ましい」戦後右派への不信…。戦友会、慰霊祭の世話係が、20年以上にわたる聞き取りをとおしてつづった、「痛み」と“悼み”の記録。生きのびるブックスのウェブ連載を書籍化。

日本経済新聞 2024/01/06

2023:11./ 240p  
978-4-910790-15-2

¥2,530 [税込]





### ハーレム・シャッフル

コルソン・ホワイトヘッド 著

早川書房

1959年、ニューヨーク。ハーレムにある中古家具店で働く、アフリカ系アメリカ人のレイ・カーニー。従弟が起こした強盗事件に巻き込まれ、ならず者との裏取引を重ねていき…。ピューリッツァー賞受賞作家が放つエンタメ小説。

日本経済新聞 2024/01/06、毎日新聞 2024/01/20

2023:11./ 410p  
978-4-15-210286-7

¥2,970〔税込〕



### AI 翻訳革命～あなたの仕事に英語学習はもういらない～

隅田英一郎 著

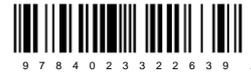
朝日新聞出版

AI 翻訳が到達した実用に堪える高精度、AI 翻訳の仕組み、失敗しない使い方、研究開発の歴史、AI 翻訳の近未来、翻訳産業や英語教育への波及効果…。TOEIC900点を取る AI 翻訳の最新の実力と可能性を解説する。

日本経済新聞 2024/01/13

2022:8./ 271p  
978-4-02-332263-9

¥1,980〔税込〕



### ヒトの言葉機械の言葉～「人工知能と話す」以前の言語学～(角川新書 K-339)

川添 愛 著

KADOKAWA

AI と普通に話せる日はくるのか。人工知能と向き合う前に心がけるべきことは何か。私たちは「言葉の意味とは何か」を理解しているのか。AI が発達しつつある今、言葉とは何かを問い直し、言葉の不思議と未解決の謎に迫る。

日本経済新聞 2024/01/13

2020:11./ 254p  
978-4-04-082348-5

¥990〔税込〕



### トンネルの森 1945(角川文庫 か 61-11)

角野 栄子 著

KADOKAWA

太平洋戦争のさなか、幼くして母を亡くしたイコは父の再婚相手と生まれたばかりの弟とで疎開した。家のそばにある、暗く大きな森で脱走兵が自殺した噂を耳にし…。「魔女の宅急便」の著者が自らの戦争体験から描いた物語。

日本経済新聞 2024/01/13

2023:11./ 184p  
978-4-04-113745-1

¥704〔税込〕



### 言語の本質～ことばはどう生まれ、進化したか～(中公新書 2756)

今井むつみ／秋田喜美 著

中央公論新社

なぜヒトはことばを持つのか？ 子どもはいかにしてことばを覚えるのか？ オノマトペとアブダクション(仮説形成)推論という人間特有の学ぶ力を鍵に、言語の誕生と進化の謎を紐解き、ヒトの根源に迫る。

日本経済新聞 2024/01/13

2023:5./ 9p,277p  
978-4-12-102756-6

¥1,056〔税込〕





火星の人～映画「オデッセイ」原作～<上> 新版(ハヤカワ文庫 SF 2043)

アンディ・ウィアー 著

早川書房

有人火星探査のクルーであるマークは、予期せぬ事故で一人、火星に取り残された。だが希望を捨てず、限られた食料・物資、自らの技術・知識を駆使して生き延びていく。2016年2月公開映画「オデッセイ」の原作。

日本経済新聞 2024/01/13

2015:12./ 319p  
978-4-15-012043-6

¥968 [税込]



火星の人～映画「オデッセイ」原作～<下> 新版(ハヤカワ文庫 SF 2044)

アンディ・ウィアー 著

早川書房

探査隊が到着する4年後まで生き延びるため、マークは火星で食物を栽培すべく対策を編みだしていく。一方、彼の生存を確認したNASAは国家を挙げてのプロジェクトを発動し…。2016年2月公開映画「オデッセイ」の原作。

日本経済新聞 2024/01/13

2015:12./ 312p  
978-4-15-012044-3

¥968 [税込]



プロジェクト・ヘイル・メアリー<上>

アンディ・ウィアー 著

早川書房

たった1人で目を覚ましたグレース。ここは宇宙船。ペトロヴァ問題と呼ばれる災禍によって太陽エネルギーが減少し、存亡の危機に瀕した人類は「プロジェクト・ヘイル・メアリー」を発動。遠い宇宙へ恒星間宇宙船を放ち…。

日本経済新聞 2024/01/13

2021:12./ 323p  
978-4-15-210070-2

¥1,980 [税込]



プロジェクト・ヘイル・メアリー<下>

アンディ・ウィアー 著

早川書房

「プロジェクト・ヘイル・メアリー」の目的は、太陽エネルギーを食べる未知の地球外生命体アストロファージに感染していないタウ・セチに赴き、その理由を探し出すこと。グレースはこの不可能ミッションに挑むことに…。

日本経済新聞 2024/01/13

2021:12./ 315p  
978-4-15-210071-9

¥1,980 [税込]



戦争と人類(ハヤカワ新書 015)

グウィン・ダイヤー 著

早川書房

チンパンジーの群れの苛烈な殺し合いから、人類最初の戦争、ロシア・ウクライナ戦争まで。文明の進歩に伴って急速な変化を続けてきた戦争の歴史を凝縮。その発生と激化のメカニズムを解明し、廃絶のためのビジョンを示す。

日本経済新聞 2024/01/13

2023:10./ 348p  
978-4-15-340015-3

¥1,144 [税込]





### 月ぞ流るる

澤田 瞳子 著  
文藝春秋

宮中きっての和歌の名手と言われる朝児は夫を亡くしたばかり。ひよんなことから女房として再び宮仕えをすることになったが…。『栄花物語』の作者である朝児(赤染衛門)からみた宮廷を描く。『公明新聞』連載を単行本化。

日本経済新聞 2024/01/13

2023:11./ 445p  
978-4-16-391778-8

¥2,200〔税込〕



9 78 4 16 3 9 1 7 7 8 8



### わたしが誰かわからない〜ヤングケアラーを探す旅〜(シリーズケアをひらく)

中村 佑子 著  
医学書院

葛藤と喜び、苦しみと快樂、引き裂かれてゆく感情の双方の極…。精神疾患を抱える家族に付き添うヤングケアラーの内的時間をめぐる、冒険的セルフドキュメント。『かんかん!』等掲載に書き下ろしを加え書籍化。

日本経済新聞 2024/01/13

2023:11./ 219p  
978-4-260-05441-6

¥2,200〔税込〕



9 78 4 2 6 0 0 5 4 4 1 6



### 日本人のための安全保障入門

兼原信克 著  
日経BP社

日本が、自由主義社会を守り、グローバル・サウスに広げていくリーダーになるために、今、問われるべきことは。領土問題から台湾有事、グローバル・サウスの動向まで、元国家安全保障局次長が語る安全保障入門講義。

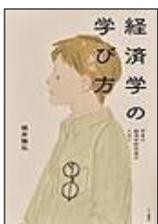
日本経済新聞 2024/01/13

2023:11./ 338p  
978-4-296-11820-5

¥2,420〔税込〕



9 78 4 2 9 6 1 1 8 2 0 5



### 経済学の学び方〜将来の経済学研究者のために〜

根井雅弘 著  
光文社

ミクロもマクロも豊富になった経済学のカリキュラム。だが、近年は経済(思想)史が軽視されがちである。基礎を固め、歴史と現在を切り結び、未来を透徹する、経済学の泰斗をめざす人のための入門書。

日本経済新聞 2024/01/13

2023:10./ 225p  
978-4-334-10102-2

¥2,420〔税込〕



9 78 4 3 3 4 1 0 1 0 2 2



### 「平和宣言」を英語で読む〜ヒロシマの心〜(帝京新書 001)

帝京大学出版会 編  
星雲社

広島市長が、広島原爆の日(8月6日)の平和祈念式典で毎年読み上げる「平和宣言」。1947年の第1回から通算76回目にあたる2023年までの平和宣言の英語版を収録。グテーレス国連事務総長の広島スピーチも掲載。

日本経済新聞 2024/01/13

2023:12./ 238p  
978-4-434-33127-5

¥968〔税込〕



9 78 4 4 3 4 3 3 1 2 7 5



**論の経営学、倫の経営学～企業の「健康寿命」を伸ばす～(帝京新書 002)**

吉田健司 著  
星雲社

人生百年時代に倣って「企業百年時代」は来るのか? 「論」と「倫」の経営で、利益追求・社会貢献・事業継続を同時に実現する「百年経営学」について解説する。

日本経済新聞 2024/01/13

2023:12./ 214p  
978-4-434-33128-2

¥995〔税込〕



**未来を拓く「自分流」研究～がんの制圧から人工知能まで～(帝京選書 001)**

帝京大学先端総合研究機構 編  
星雲社

帝京大学先端総合研究機構に所属する19人の研究者による多彩な研究成果を、一般に分かりやすく解説。AI、健康科学、社会連携など文理融合型の学際研究を進める同機構の社会課題解決に向けた取り組みを収録する。

日本経済新聞 2024/01/13

2023:12./ 343p  
978-4-434-33173-2

¥2,640〔税込〕



**夜行列車盛衰史～ブルートレインから歴史を彩った名列車まで～(平凡社新書 1046)**

松本 典久 著  
平凡社

あさかぜ、はやぶさ、北斗星、明星、銀河、ムーンライトながら…。1世紀以上の長期にわたり、人々の足として重要な使命を担ってきた「夜行列車」。生い立ちから現状までその盛衰の歴史を振り返る。

日本経済新聞 2024/01/13

2023:12./ 277p  
978-4-582-86046-7

¥1,100〔税込〕



**艶やかに～尾上菊五郎聞き書き～**

小玉 祥子 著  
毎日新聞出版

歴代名優との共演、女方中心の若手花形から立役への転換、音羽屋の伝統を継承しつつ独自のスタイルを開拓し続ける円熟期…。歌舞伎俳優・尾上菊五郎の芸の神髄に迫る。『毎日新聞』連載を書籍化。

日本経済新聞 2024/01/13

2023:10./ 315p  
978-4-620-32792-1

¥3,080〔税込〕



**理工系のAI英作文術～誰でも簡単に正確な英文が書ける～**

西山 聖久 著  
化学同人

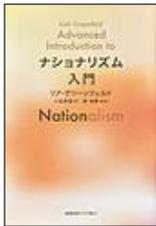
海外の工科大学の副学長をつとめる著者が、現地でも実践する確実な翻訳ツールの使い方を伝授。Google翻訳やDeepLといったAI自動翻訳を効率よく使うノウハウや、質の高い英文の作り方を具体的に解説する。

日本経済新聞 2024/01/13

2022:5./ 9p,172p  
978-4-7598-2167-3

¥2,200〔税込〕





### ナショナリズム入門

リア・グリーンフェルド 著  
慶應義塾大学出版会

ナショナリズムを経験的現象として研究するための上級入門書。ナショナリズムの誕生からグローバル化まで、その本質に迫る。アイデンティティ全般、愛国主義といった関連項目についての詳説をBOXとして収録する。

日本経済新聞 2024/01/13

2023:11./ 16p,249p  
978-4-7664-2775-2

¥2,970〔税込〕



### 洞窟壁画考

五十嵐ジャンヌ 著  
青土社

描いた人たちはだれで、いつ、どのようにして描いたのか。そもそもいったい何のために暗い洞窟の奥に描いたのか。実際にフランスやスペインの遺跡におもむいた研究家が、洞窟壁画を様々な観点で理解できるように解説する。

日本経済新聞 2024/01/13

2023:10./ 466p,41p  
978-4-7917-7568-2

¥4,950〔税込〕



### 迷える英語好きたちへ(インターナショナル新書 060)

鳥飼 玖美子/斎藤 兆史 著  
集英社インターナショナル

通じないカタカナ英語、小学校の英語授業、大学入試への英語民間試験導入…。英語教育のエキスパートが、現場の声が反映されない教育政策の矛盾に切り込み、不可解なカタカナ英語に翻弄される学習者たちの疑問・不安に応える。

日本経済新聞 2024/01/13

2020:10./ 221p  
978-4-7976-8060-7

¥924〔税込〕



### 北支宣撫官～日中戦争の残響～

太田 出 著  
えにし書房

1937年、中国天津に誕生した(北支)宣撫官は、軍事占領後に民衆の生活上の問題を解決する任務ゆえに、軍の意向と正面から衝突し、戦後も葛藤し苦悩し続けた。笠実を中心に中心人物らの足跡を辿り、その実像に迫る。

日本経済新聞 2024/01/13

2023:10./ 290p  
978-4-86722-122-8

¥2,970〔税込〕



### 板ばさみのロシア人～「プーチン時代」に生きる狡知と悲劇～

ジョシュア・ヤッフア 著  
白水社

ロシアの集団的な潜在意識とは何か? 『ニューヨーカー』モスクワ特派員が、ロシアの体制派から反体制派まで、各世代、各立場の人々に取材し、権威主義体制下での葛藤と妥協、したたかな「ずる賢い人間」の心奥に迫る。

日本経済新聞 2024/01/13、東京・中日新聞 2024/01/14

2023:10./ 437p,22p  
978-4-560-09380-1

¥5,060〔税込〕





**パッキパキ北京**

綿矢 りさ 著  
集英社

コロナ禍の北京で単身赴任中の夫から、一緒に暮らそうと乞われた菖蒲。愛犬を携えしゅしゅ中国に渡るが...。「人生エンジョイ勢」を極める菖蒲が北京を味わい尽くす、貪欲駐妻ライフ! 『すばる』掲載を単行本化。

日本経済新聞 2024/01/13、毎日新聞 2024/01/13、産経新聞 2024/01/21、東京・中日新聞 2024/01/21、毎日新聞 2024/01/27

2023:12./ 144p  
978-4-08-771857-7

¥1,595 [税込]



**ジャン・クリストフ<1> 改版(岩波文庫 赤 555-1)**

ロマン・ローラン 著  
岩波書店

ライン河畔の貧しい音楽一家に生れた主人公ジャン・クリストフは、人間として、芸術家として、不屈の気魄をもって、生涯、真実を追求しつづける。偉大なヒューマニスト作家ロマン・ローランの不朽の名作。

日本経済新聞 2024/01/20

1986:6./ 540p  
978-4-00-325551-3

¥1,210 [税込]



**ジャン・クリストフ<2> 改版(岩波文庫 赤 555-2)**

ロマン・ローラン 著  
岩波書店

日本経済新聞 2024/01/20

1986:7./ 634p  
978-4-00-325552-0

¥1,276 [税込]



**ジャン・クリストフ<3> 改版(岩波文庫 赤 555-3)**

ロマン・ローラン 著  
岩波書店

日本経済新聞 2024/01/20

1986:8./ 614p  
978-4-00-325553-7

¥1,254 [税込]



**ジャン・クリストフ<4> 改版(岩波文庫 赤 555-4)**

ロマン・ローラン 著  
岩波書店

日本経済新聞 2024/01/20

1986:9./ 518p  
978-4-00-325554-4

¥1,210 [税込]



**罪と罰<上>(岩波文庫 赤 613-5)**

ドストエフスキー 著  
岩波書店

悲惨な境遇から脱出しようと、青年はある「計画」を執行するが閉塞した社会状況の中でくすぶる人間性の回復への強烈な願望を描いて、世界文学史上にドストエフスキーの名を刻みつけた不朽の名作。

日本経済新聞 2024/01/20

1999:11./ 414p  
978-4-00-326135-4

¥1,122 [税込]



罪と罰<中>(岩波文庫 赤 613-6)

ドストエフスキー 著

岩波書店

ラスコーリニコフを襲う精神の動揺。彼を心配する周囲の人びと。事件の捜査官との渡り合い。次第に深まってゆくソーニャとの交流。

日本経済新聞 2024/01/20

1999:12./ 364p  
978-4-00-326136-1

¥1,012 [税込]



罪と罰<下>(岩波文庫 赤 613-7)

ドストエフスキー 著

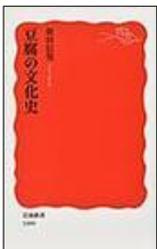
岩波書店

やっとのことで罪を告白したラスコーリニコフ。懸命に贖罪を促すソーニャ。再生への第1歩が踏み出されようとする。

日本経済新聞 2024/01/20

2000:2./ 432p  
978-4-00-326137-8

¥1,177 [税込]



豆腐の文化史(岩波新書 新赤版 1999)

原田 信男 著

岩波書店

昔から広く日本で愛されてきた豆腐。それはいつ、どこで誕生し、どのように受容されてきたのか。食文化史研究の第一人者が、文献史料の博捜に加え、日本各地をたずね歩き、豆腐の魅力を歴史的・文化的に描き出す。

日本経済新聞 2024/01/20

2023:12./ 268p  
978-4-00-431999-3

¥1,210 [税込]



不毛地帯<第1巻>(新潮文庫)

山崎 豊子 著

新潮社

日本経済新聞 2024/01/20

2009:3./ 638p  
978-4-10-110440-9

¥1,045 [税込]



深夜特急<1> 新版 香港・マカオ(新潮文庫 さ-7-51)

沢木 耕太郎 著

新潮社

インドのデリーからイギリスのロンドンまで、乗合いバスで行ってみたい。26歳の<私>は、仕事を投げ出して旅に出た。1は、旅の発端と、香港、マカオ、山口文憲との対談、「あの旅をめぐるエッセイ1」を収録。

日本経済新聞 2024/01/20

2020:7./ 270p  
978-4-10-123528-8

¥605 [税込]





### 解剖学者と殺人鬼(ハヤカワ・ミステリ文庫 HM 512-1)

アレイナ・アーカート 著  
早川書房

殺人鬼ジェレミーが死体に残した次の凶行のヒント。それは解剖学者レンへの挑戦状だった。レンをあざ笑うかのように繰り返される凶行。解剖学者と殺人鬼の頭脳対決の行方は…。現役の解剖学者が描くサスペンス。

日本経済新聞 2024/01/20

2023:11./ 302p  
978-4-15-185801-7

¥1,496〔税込〕



### 穀物の世界史～小麦をめぐる大国の興亡～

スコット・レイノルズ・ネルソン 著  
日経BP社

穀物の道を支配するための争いが、世界のパワーバランスにどのような変化をもたらしたか。ロシアのオデーサ建設など興味深い逸話を交え、穀物が帝国や都市の盛衰に果たした決定的役割を描く。

日本経済新聞 2024/01/20

2023:10./ 430p  
978-4-296-11535-8

¥3,630〔税込〕



### ボードゲームで社会が変わる～遊戯するケアへ～(河出新書 069)

與那覇 潤／小野 卓也 著  
河出書房新社

いま、流行するボードゲームには、自分と相手を<分断しない>社会のヒントが満載。気鋭の評論家とボードゲーム普及活動の先駆者が、ボードゲームを<遊ぶ>べき理由を徹底討論する。有識者6名による対戦記なども収録。

日本経済新聞 2024/01/20

2023:11./ 229p  
978-4-309-63171-4

¥990〔税込〕



### ウィキペディアでまちおこし～みんなで作ろう地域の百科事典～

伊達深雪 著  
紀伊國屋書店出版部

ある都市のウィキペディア項目に写真や詳細な紹介文を加えたところ、観光収入が増加した。まちの活性化やオープンデータ推進の取り組みとして注目を集める「ウィキペディアタウン」。その魅力と活用の仕方をガイドする。

日本経済新聞 2024/01/20

2023:12./ 322p  
978-4-314-01202-7

¥2,200〔税込〕



### サステナブル金融が動く

吉高 まり 著  
金融財政事情研究会

日本におけるグリーンビジネスのパイオニアである著者が、なぜ金融機関が気候変動問題、グリーンビジネスに動くのかを読み解く。サステナブルな社会への移行において、金融機関が担う役割の重要性を明らかにする。

日本経済新聞 2024/01/20

2023:11./ 15p,262p  
978-4-322-14197-9

¥3,190〔税込〕





## 韓国の国防政策～「強軍化」を支える防衛産業と国防外交～

伊藤 弘太郎 著

勁草書房

国防費が日本を越え、防衛装備品の輸出も急拡大している韓国。韓国の防衛産業はいかにして躍進したのか。それを下支えした国防外交とはどのようなものなのか。これまでの歴史や仕組みを解明し、その要因を探る。

日本経済新聞 2024/01/20

2023:11./ 6p,183p  
978-4-326-30334-2

¥3,960〔税込〕



## 「ボヘミアン・ラブソディ」の謎を解く～“カミングアウト・ソング”説の真相～(光文社新書 1152)

菅原裕子 著

光文社

「ボヘミアン・ラブソディ」に、フレディはどのような叫び、祈りを込めたのか？ 洋楽ファンの映画研究者が膨大な文献をリサーチして、Queenの“異形の曲”のメッセージを解説する。note連載に書き下ろしを追加。

日本経済新聞 2024/01/20

2021:8./ 242p  
978-4-334-04537-1

¥902〔税込〕



## ChatGPTの全貌～何がすごくて、何が危険なのか？～(光文社新書 1267)

岡嶋裕史 著

光文社

ChatGPTと上手に付き合い、その能力を最大限に引き出すには？ 基礎知識からクリエイティビティ、今後の進化、人類の未来への影響まで、わかりやすく解説する。

日本経済新聞 2024/01/20

2023:8./ 266p  
978-4-334-10013-1

¥990〔税込〕



## 戦略的情報システム～競争戦略の武器としての情報技術～

チャールズ・ワイズマン、土屋守章 著

ダイヤモンド社

日本経済新聞 2024/01/20

1989:12./ 397p  
978-4-478-37043-8

¥4,805〔税込〕



## 星を継ぐもの 新版(創元 SF 文庫 SF ホ 1-1)

ジェイムズ・P・ホーガン 著

東京創元社

月面で発見された、真紅の宇宙服をまとった死体。綿密な調査の結果、驚くべき事実が判明する。彼は5万年前に死亡していたのだ！ いったい彼の正体は？ 調査チームに招集されたハント博士は壮大なる謎に挑む。

日本経済新聞 2024/01/20

2023:7./ 326p  
978-4-488-66331-5

¥880〔税込〕





### 敗者のゲーム

チャールズ・エリス 著

日本経済新聞出版社

市場に勝つことがきわめて難しくなった今、最も簡単かつ結果の出る方法は、インデックス・ファンドを活用することだ! プロ・アマ問わず幅広い投資家に向けたメッセージとして、時代を超えて読み継がれる運用哲学のバイブル。

日本経済新聞 2024/01/20

2015:1./ 261p  
978-4-532-35628-6

¥1,870 [税込]



### 大仏ホテルの幽霊(エクス・リブリス)

カン・ファギル 著

白水社

韓国最大のチャイナタウンを擁する港町・仁川に佇む大仏ホテル。1950年代後半、朝鮮戦争の傷痕が残る西洋式のそのホテルで、幽霊に導かれるように4人の男女の人生が交錯し…。韓国社会の“恨”を描くゴシックスリラー。

日本経済新聞 2024/01/20

2023:12./ 296p  
978-4-560-09089-3

¥2,640 [税込]



### 検閲官のお仕事

ロバート・ダントン 著

みすず書房

違法な書籍商を従えて禁書の取引をした警官、現地語文学の動向を仔細に読み込み監視する図書館員…。ブルボン朝フランス、英領インド、東ドイツという3つの政治体制の検閲を題材に、言論統制のエージェントたちの実相に迫る。

日本経済新聞 2024/01/20

2023:12./ 368p  
978-4-622-09663-4

¥5,500 [税込]



### 着物になった<戦争>~時代が求めた戦争柄~(歴史文化ライブラリー 581)

乾 淑子 著

吉川弘文館

日清戦争から太平洋戦争開戦までに盛んに作られた戦争柄着物は、何を伝え、何を隠したのか? 吉祥とされた意匠から当時の社会的背景や時代性を読み解き、戦争柄着物を近代史・美術史の中に位置付ける。

日本経済新聞 2024/01/20

2023:12./ 6p,263p  
978-4-642-05981-7

¥1,980 [税込]



### クジラと話す方法

トム マスティル 著

柏書房

「動物と話してみたい」人類はその夢にどこまで近づいたのか。シリコンベースの知能が炭素ベースの生命に向けられたとき、動物と人間の関係はどう変化していくのか。生物学の世界で起こる革命を丹念に追ったドキュメント。

日本経済新聞 2024/01/20

2023:10./ 411p  
978-4-7601-5542-2

¥2,530 [税込]





**イノベーションのジレンマ～技術革新が巨大企業を滅ぼすとき～ 増補改訂版(Harvard business school press)**

クレイトン・クリステンセン、玉田 俊平太、伊豆原 弓 著  
翔泳社

業界を支配する巨大企業が、その優れた企業戦略ゆえに滅んでいくジレンマの図式を分析し、既存事業を衰退させる可能性を持つ破壊的イノベーションに対して、経営者はどう対処すべきかを解説する。2000年刊の増補改訂版。

日本経済新聞 2024/01/20

2001:7./ 327p  
978-4-7981-0023-4

¥2,200〔税込〕



**女性が科学の扉を開くとき～偏見と差別に対峙した六〇年～**

リタ・コルウェル、シャロン・バーチュ・マグレイン 著  
東京化学同人

米国科学界に著しい性差別があった1960年代よりジェンダーギャップを埋める努力はどのように成されてきたか。女性で初めて米国国立科学財団の長官を務めたリタ・コルウェルが、科学者としての人生を人間的な側面から語る。

日本経済新聞 2024/01/20

2023:11./ 344p  
978-4-8079-2050-1

¥3,520〔税込〕



**道を歩けば、神話～ベトナム・ラオスつながりの民族誌～**

樫永 真佐夫 著  
左右社

民族や“くに”のつながりとは？ベトナム・ラオスの旅に出た文化人類学者が、少数民族が独自に築いたもの、国の危機につくり出された英雄や神話、外部者たちとの交流により新たに根づいた文化などを2国の歴史と共にたどる。

日本経済新聞 2024/01/20

2023:11./ 311p  
978-4-86528-392-1

¥2,750〔税込〕



**西郷南洲遺訓(いつか読んでみたかった日本の名著シリーズ 3)**

西郷 南洲、桑畑 正樹 著  
致知出版社

人を相手にしないで、天を相手にするようにせよ。西郷隆盛の教えを弟子たちが書き記した名著「西郷南洲遺訓」の現代語訳。原文に忠実に、とことん読みやすく訳出する。訳者・桑畑正樹の解説付き。

日本経済新聞 2024/01/20

2012:10./ 156p  
978-4-88474-978-1

¥1,540〔税込〕



**ガーナ流家族のつくり方～世話する・される者たちの生活誌～**

小佐野 アコシヤ有紀 著  
東京外国語大学出版会

20歳の大学生だった私が留学先のガーナで出逢ったのは、血縁を超えた家族関係を結ぶ人々だった。“理想の家族像”を揺さぶられ続けるフィールドワークを瑞々しく書き綴った卒業制作を書籍化。

日本経済新聞 2024/01/20

2023:12./ 254p  
978-4-910635-08-8

¥2,420〔税込〕





**武器になる哲学～人生を生き抜くための哲学・思想のキーコンセプト 50～**  
(角川文庫 や 73-1)

山口 周 著  
KADOKAWA

「無知の知」「ロゴス・エトス・パトス」「悪の陳腐さ」「反脆弱性」...哲学・思想のキーコンセプト 50 を、ビジネスパーソン向けの新しい視点で解説。現役で活躍する経営コンサルだから書けた「哲学の使い方」がわかる一冊。

日本経済新聞 2024/01/27

2023:11./ 389p  
978-4-04-606600-8

¥990〔税込〕



**ミケランジェロの焔(CREST BOOKS)**

コスタンティーノ・ドラッツィオ 著  
新潮社

ダ・ヴィンチの才能を憎み、ラファエッロの急成長を妬み、あらゆる人々と衝突したミケランジェロ。イタリアの人気美術キュレーターが、ミケランジェロの一人称でその複雑なパーソナリティと人生を描く伝記的小説。

日本経済新聞 2024/01/27

2023:11./ 218p  
978-4-10-590191-2

¥2,365〔税込〕



**金星の蟲(ハヤカワ文庫 JA 1560)**

西島 伝法 著  
早川書房

刷版工場で働く男の日常が徐々に悍ましい侵食を受けていく表題作のほか、異形の存在へと姿を変えられた受刑者の物語「環刑錮」など全 8 篇を収録。自作解題と奇想イラストストーリー「幻視百景」を加え文庫化。

日本経済新聞 2024/01/27

2023:10./ 461p  
978-4-15-031560-3

¥1,386〔税込〕



**奏で手のヌフレツン**

西島 伝法 著  
河出書房新社

人々は散在する 8 つの聚落で生活し、世界を 5 つの太陽が絶え間なく巡っていた。太陽に抗った聚落の子孫ヌフレツンは、運命に導かれてバイオリンの奏で手を目指す。迫る太陽消失。響け、祖先の遺した禁忌の音-

日本経済新聞 2024/01/27

2023:12./ 501p  
978-4-309-03158-3

¥2,640〔税込〕



**入門山頭火**

町田康 著  
春陽堂書店

生家は没落、母は自殺、弟は縊死。転落しつつ背負った「解くすべもない惑ひ」とは何か？作家・町田康が、自由律の俳人・種田山頭火の生涯と俳句について、思うままに綴る。『Web 新小説』掲載を加筆・修正。

日本経済新聞 2024/01/27

2023:12./ 314p  
978-4-394-90467-0

¥2,200〔税込〕





### 「戦争ごっこ」の近現代史～児童文化と軍事思想～

サビーネ・フリーシュトゥック 著

人文書院

子どもや子ども時代が、いかに象徴的なものとして構造化され軍国主義への強力な修辞の道具として機能してきたか。日清・日露の戦争ごっこから現在の安全保障問題と萌えミリまで検証する。

日本経済新聞 2024/01/27

2023:11./ 340p  
978-4-409-52091-8

¥5,280〔税込〕



### 父が息子に語る 壮大かつ圧倒的に面白い哲学の書

スコット・ハーショヴィッツ 著

ダイヤモンド社

この世界は「思っているような世界」ではないかもしれない。イェールxオックスフォード卒の異才教授が放つ、前代未聞の哲学ツアー。古典から現代哲学まで、時空を超えて縦横無限に駆け巡る。

日本経済新聞 2024/01/27

2023:11./ 598p  
978-4-478-10990-8

¥2,420〔税込〕



### 皆勤の徒(創元 SF 文庫 SF と 1-1)

西島 伝法 著

東京創元社

100メートルの鉄柱が支える甲板の上に建つ“会社”。そこでは異様な有機生命体を素材に商品を手作りしている。雇用主の社長は“人間”と呼ばれる不定形の大型生物だ。日々の勤めは平穏ではなく…。表題作など全4編を収録。

日本経済新聞 2024/01/27

2015:7./ 402p  
978-4-488-75701-4

¥1,056〔税込〕



### 経済学レシピ～食いしん坊経済学者がオクラを食べながら資本主義と自由を考えた～

ハジュン・チャン 著

東洋経済新報社

コカ・コーラで「新自由主義政策」、鶏肉で「不平等」、いちごで「オートメーション」…。料理好きな気鋭の経済学者が、食べ物を題材に複雑な経済学の話をおいしく味わってもらえるよう書いた、教養としての経済学。

日本経済新聞 2024/01/27

2023:12./ 275p,20p  
978-4-492-31554-5

¥2,420〔税込〕



### 図書館は生きている

パク・キスク 著

原書房

赤ちゃんからお年寄りまで集う公共図書館は、たくさんの人生が交錯する場所。長年、アメリカで司書を務めた著者が語る、図書館の愛しい日常と、世界の図書館をめぐる25のエピソード。

日本経済新聞 2024/01/27

2023:11./ 245p  
978-4-562-07367-2

¥2,200〔税込〕





### 不自然な自然の恵み〜7つの天然素材をめぐる奇妙な冒険〜

エドワード・ボズネット 著  
みすず書房

採取者たちの劣悪な労働環境、生態系の破壊、塗り替えられた伝承…。最高級ダウ  
ン、ツバメの巣など7つの希少な天然素材を追い、採取者をはじめ、仲介業者や起業  
家の声までも丹念にたどる。

日本経済新聞 2024/01/27

2023:12./ 8p,269p,31p  
978-4-622-09664-1

¥3,960〔税込〕



### 円の実力〜為替変動と日本企業の通貨戦略〜

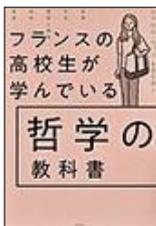
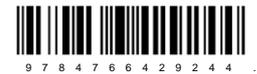
佐藤 清隆 著  
慶應義塾大学出版会

果たして円はどれほどパワーを失っているのか。かつて最強の貿易立国と謳われた栄  
光は取り戻せるか。最新の企業調査に基づく著者オリジナルの経済分析によって、今  
日の日本と円の「真の姿」をわかりやすく解説する。

日本経済新聞 2024/01/27

2023:12./ 10p,276p  
978-4-664-2924-4

¥2,970〔税込〕



### フランスの高校生が学んでいる哲学の教科書

シャルル・ペパン 著  
草思社

哲学は私たちを何から救ってくれるのか、幸せにしてくれるのか。フランスの人気  
哲学者が、西欧哲学の真髄を明快に解説する。キーワード解説、バカロレア(中等教  
育修了資格兼大学入試資格)試験対策実践編も収録。

日本経済新聞 2024/01/27

2023:11./ 190p  
978-4-7942-2680-8

¥1,760〔税込〕



### ヒューマノクラシー〜「人」が中心の組織をつくる〜

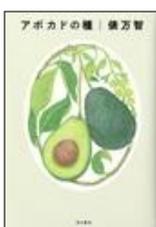
ゲイリー・ハメル/ミケーレ・ザニーニ/嘉村賢州 著  
英治出版

官僚主義から、人を中心に据えた組織<ヒューマノクラシー>へ。「トップが変わらな  
ければ/大企業では無理」という固定観念を覆す、グローバル企業xボトムアップの豊  
富な事例とともに、新たな組織をつくる原則を説く。

日本経済新聞 2024/01/27

2023:12./ 493p  
978-4-86276-315-0

¥2,750〔税込〕



### アボカドの種

俵 万智 著  
KADOKAWA

アボカドのサラダ作ってあげることもうないだろうレシピ聞かれる 言葉から言葉をつ  
つむぐだけなら、AIにだってできる。心から言葉をつむぐとき、歌は命を持つ。375  
首を収録した第7歌集。

毎日新聞 2024/01/06

2023:10./ 151p  
978-4-04-884563-2

¥1,540〔税込〕





### 莓をつぶしながら(講談社文庫)

田辺 聖子 著  
講談社

35歳の乃里子。剛との結婚解消とともに中谷財閥からも解放されて、仕事も昔の友情も取り戻した。しかし自分の将来の姿もなぞらえていた女友達に悲しい出来事が。そのとき手を差し伸べてくれたのは.....。

毎日新聞 2024/01/06

2010:11./ 343p  
978-4-06-276802-3

¥770〔税込〕



### カーテンコール

筒井 康隆 著  
新潮社

「時をかける少女」「パプリカ」などの主人公たちが病床の作者を訪れる「プレイバック」ほか、痙攣的笑い、甘美な郷愁、胸熱きわまる感涙等を齎す芳醇無比な掌篇小説 25 篇。

毎日新聞 2024/01/06

2023:10./ 247p  
978-4-10-314536-3

¥1,870〔税込〕



### 実験の民主主義～トクヴィルの思想からデジタル、ファンダムへ～(中公新書 2773)

宇野重規／若林恵 著  
中央公論新社

19世紀の大転換期を生きたトクヴィルの思索と行動を手がかりに、実験的な民主主義像を描出。新技術が人々の想像力を変えた歴史を捉え、フランス革命・アメリカ建国後の政治史を解説し、AI時代の社会像と人間像を探究する。

毎日新聞 2024/01/06

2023:10./ 8p,309p  
978-4-12-102773-3

¥1,100〔税込〕



### 外事警察秘録

北村 滋 著  
文藝春秋

中国、ロシア、北朝鮮...。海外からの脅威に日本の「外事警察」はいかに対峙してきたのか。警察官僚、前国家安全保障局長の著者が、スパイとの闘い、水面下での極秘任務の数々を明かす。『文藝春秋』掲載を書籍化。

毎日新聞 2024/01/06

2023:12./ 291p  
978-4-16-391788-7

¥1,760〔税込〕



### 台湾のアイデンティティ～「中国」との相克の戦後史～(文春新書 1434)

家永 真幸 著  
文藝春秋

台湾のアイデンティティは、中国との距離感によって時代ごとに大きく揺れ動いてきた。民主化以前の台湾をめぐる政治的争点をはじめとする歴史の結び目を紐解きながら、「人」を起点に台湾現代史を描き出す。

毎日新聞 2024/01/06

2023:11./ 261p  
978-4-16-661434-9

¥1,210〔税込〕





### 無敵の犬の夜

小泉 綾子 著

河出書房新社

北九州の片田舎。中学生の界は、「バリイケとる」男・橘さんに強烈に心酔していく。東京のラッパーとトラブルを起こしたという橘さんのため、ひとり東京へ向かうことを決意するが-。『文藝』掲載を単行本化。

毎日新聞 2024/01/06

2023:11./ 143p  
978-4-309-03159-0

¥1,540〔税込〕



### 吉田健一に就て

川本直／榎原辰郎／武田将明 編

渡辺祐真／浜崎洋介／山中剛史／中西恭子／大塚健太郎／磯崎純一／富士川義之／川本直／榎原辰郎／武田将明／伊達聖伸／佐藤亜紀／大野露井／高遠弘美／渡邊利道／堀田隆大／山崎修平／小川公代／小山太一 著

国書刊行会

文明、言葉、近代、酒肴酒、文学的交遊...。19人の気鋭の執筆者が、自らの視点や専門性を全面に押し出して、偶像崇拜的な従来の吉田健一像を打ち壊し、彼の新たな可能性とその限界を提示する。

毎日新聞 2024/01/06

2023:10./ 552p  
978-4-336-07537-6

¥4,950〔税込〕



### 世界で一番美しいエンジン図鑑

セオドア・グレイ 著

創元社

世界を「動かして」いるのはエンジンだ! 蒸気機関、内燃機関、モーターという、産業革命以降の大発明を取り上げ、美しい写真とともに紹介。「エンジン」の原理やしくみだけではなく、それらを使った機械のしくみも説明する。

毎日新聞 2024/01/06

2023:9./ 239p  
978-4-422-50003-4

¥4,180〔税込〕



### 家康の誤算〜「神君の仕組み」の創造と崩壊〜(PHP新書 1372)

磯田 道史 著

PHP研究所

265年の平和を維持してきた江戸幕府。しかし盤石と思われたその体制は、徳川家康の後継者たちによって徐々に崩され、崩壊する。“神君”家康にとっての誤算を、近世から近代まで俯瞰して読み解き、家康が与えた影響に迫る。

毎日新聞 2024/01/06

2023:11./ 237p  
978-4-569-85541-7

¥990〔税込〕



### やばい源氏物語(ポプラ新書 249)

大塚 ひかり 著

ポプラ社

物語の舞台が当時の心霊スポットや墓、プスがヒロイン、インフルエンサーを利用したPR、尻切れトンボと言われるラストの謎...。当時の人々が“異端”とした「源氏物語」の知られざる魅力をユーモラスに紹介する。

毎日新聞 2024/01/06

2023:11./ 219p  
978-4-591-17975-8

¥979〔税込〕





**台湾侵攻に巻き込まれる日本～安倍政治の「継承者」、岸田首相による敵基地攻撃・防衛費倍増の真実～**

半田滋 著  
あけび書房

台湾有事は 2027 年までに起きる？ 米中が軍事衝突すれば沖縄が「捨て石」にされる！ 「敵基地攻撃能力の保有」で「専守防衛」を投げ捨て「新しい戦前」に向かう岸田政権の危険性を問う。

毎日新聞 2024/01/06

2023:10./ 231p  
978-4-87154-240-1

¥1,980〔税込〕



**超人ナイチンゲール(シリーズケアをひらく)**

栗原 康 著  
医学書院

救うものが救われて、救われたものが救ってゆく。そんな新しい生の形式を日常生活につくりだせ。そう、看護は魂にふれる革命なのだ。鬼才文人アナキストが語る、かつてないナイチンゲール伝。テキストデータ引換券付き。

毎日新聞 2024/01/06、読売新聞 2024/01/21

2023:11./ 261p  
978-4-260-05442-3

¥2,200〔税込〕



**社会学の新地平～ウェーバーからルーマンへ～(岩波新書 新赤版 1994)**

佐藤 俊樹 著  
岩波書店

科学技術と資本主義によって規定された産業社会の謎に挑んだウェーバーとルーマン。難解で知られる彼らが遺した知的遺産を読み解くことで、今の「この」「社会」とは何なのかという問いを更新する。

毎日新聞 2024/01/06、日本経済新聞 2024/01/13

2023:11./ 296p  
978-4-00-431994-8

¥1,276〔税込〕



**ファラオの密室**

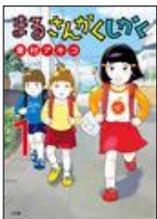
白川 尚史 著  
宝島社

紀元前 1300 年代後半、古代エジプト。死んでミイラにされた神官のセティは、心臓に欠けがあるため冥界の審判を受けることができない。欠けた心臓を取り戻すために地上に舞い戻り、自分が死んだ事件の捜査を進めるが...

毎日新聞 2024/01/07、産経新聞 2024/01/28

2024:1./ 323p  
978-4-299-04931-5

¥1,650〔税込〕



**まるさんかくしかく(ビッグ コミックス)**

東村 アキコ 著  
小学館

東村アキコ待望の半自伝作品.....テーマは“小学校時代”!!笑って泣いて、転んで膝すりむいて、毎日が大事件!宮崎に暮らす昭和の小学4年生、“林アキコ”の日々が、砂煙を立てながら始まるっ!!

毎日新聞 2024/01/13

2023:12./ 160p  
978-4-09-862594-9

¥715〔税込〕





### きらきらひかる 改版(新潮文庫 え-10-1)

江國 香織 著  
新潮社

笑子はアル中、睦月はホモで恋人あり。そんな2人は全てを許し合って結婚した、筈だったのだが…。セックスレスの奇妙な夫婦関係から浮かび上がる誠実、友情、そして恋愛とは？ 純度 100%の恋愛小説。

毎日新聞 2024/01/13

2014:9./ 221p  
978-4-10-133911-5

¥572 [税込]



### なぜかじめに巻き込まれる子どもたち〜子どもを守るために親が知るべき「いじめの正体」と予防策〜(ポプラ新書 250)

川上 敬二郎 著  
ポプラ社

スマホ依存、ブラック部活、教員による見逃し...などに要注意! いじめの現状と対策の課題を考察し、家庭から社会のあり方まで、幅広い予防対策や予防授業を紹介する。『TBS NEWS DIG』連載を大幅に加筆・修正。

毎日新聞 2024/01/13

2023:12./ 268p  
978-4-591-17997-0

¥1,012 [税込]



### 北海道犬旅サバイバル

服部文祥 著  
みすず書房

背負っている食料は米と調味料だけ。河原で野営し、鹿を撃って食いつなぐ。サバイバル登山家が、愛犬を連れて、宗谷岬から襟裳岬まで、晩秋の北海道南北分水嶺 700km をまる 2 か月かけて歩き通した旅のドキュメント。

毎日新聞 2024/01/13

2023:9./ 247p  
978-4-622-09653-5

¥2,640 [税込]



### フェミニスト経済学〜経済社会をジェンダーでとらえる〜

長田 華子/金井 郁/古沢 希代子 編  
有斐閣

フェミニズムの視点から経済学をとらえたフェミニスト経済学のテキスト。万人を差別や抑圧から解放し、1人ひとりの権利を保障することで、万人のウェルビーイングの向上をめざす。

毎日新聞 2024/01/13

2023:10./ 13p,298p  
978-4-641-16620-2

¥4,070 [税込]



### 温泉旅行の近現代(歴史文化ライブラリー 582)

高柳 友彦 著  
吉川弘文館

温泉旅行は、どのように今日のような身近なレジャーとして定着したのか。旅行形態や費用感、交通・情報インフラなどの変遷を追い、そのなかでの温泉地の対応にも言及しつつ、江戸から現代までの温泉旅行を通史的に描く。

毎日新聞 2024/01/13

2023:12./ 7p,218p  
978-4-642-05982-4

¥1,870 [税込]





### 葬送のお仕事(シリーズお仕事探検隊)

井上 理津子 著

解放出版社

「死ぬと人の体はどうなるの?」「お葬式って必ずしなくちゃいけないの?」「納棺師の仕事内容は?」「コロナ禍にお葬式は変わった?」葬儀業界で働く人びとが、葬送に関する 38 の疑問に、写真やイラストを添えて答える。

毎日新聞 2024/01/13

2023:10./ 14p,238p

978-4-7592-5043-5

¥1,980 [税込]



### ザボンよ、たわわに実れ〜民主医療に尽くした金高満すゑの半生〜

力武 晴紀 著

花伝社

貧しい人々に、医療を! 治安維持法の時代に、誰もが医療を受けられる社会を求めた若き女医・金高満すゑ。民医連(全日本民主医療機関連合会)の礎となったその闘いの半生を描く。

毎日新聞 2024/01/13

2023:11./ 252p

978-4-7634-2091-6

¥1,980 [税込]



### 軍国の文化〜日清戦争・ナショナリズム・地域社会〜<上>

羽賀 祥二 著

名古屋大学出版会

1894〜95年に日本国民が示した「戦争熱」の様相、「ジンゴイズム」的現象を地域社会や諸団体の動向に即して検討。日本国民の戦争支持の中に現れた心性と、日清戦争が「軍国」の文化をいかに形成したのかを明らかにする。

毎日新聞 2024/01/13

2023:12./ 478p

978-4-8158-1137-2

¥6,930 [税込]



### 軍国の文化〜日清戦争・ナショナリズム・地域社会〜<下>

羽賀 祥二 著

名古屋大学出版会

1894〜95年に日本国民が示した「戦争熱」の様相、「ジンゴイズム」的現象を地域社会や諸団体の動向に即して検討。日本国民の戦争支持の中に現れた心性と、日清戦争が「軍国」の文化をいかに形成したのかを明らかにする。

毎日新聞 2024/01/13

2023:12./ 640p

978-4-8158-1138-9

¥8,030 [税込]



### 50代で一足遅れてフェミニズムを知った私がひとりで安心して暮らしていくために考えた身近な政治のこと

和田 静香 著

左右社

老後を目前に不安にかられた著者は「女性議員なら自分ごととして考えてくれるのでは?」と、日本で唯一パリテ(男女同数)議会を 20 年以上も続けてきた大磯町議会をたずねる。だが…。パワフルな政治&フェミニズムエッセイ。

毎日新聞 2024/01/13

2023:10./ 245p

978-4-86528-386-0

¥1,980 [税込]





### 僕は何で一生外国語を学ぶのか

ロバート・ファウザー 著  
クオン

人生と一緒に歩く外国語は、多ければ多いほどいい! ソウル大学国語教育科初の外国人教授ロバート・ファウザーが、目標も学び方も自分で決めて、楽しさと達成感と実力を手に入れる外国語学習法を語る。

毎日新聞 2024/01/13

2023:11./ 247p  
978-4-910214-53-5

¥2,200 [税込]



### とある家族の物語

田中耕三郎/田中成人 著  
トゥーヴァージンズ

あたりまえの日常が、こんなにも尊い。なにげないひと時も特別な1日も、父が記録したのは、ありのままの子どもたちの姿。カラー化写真と日記でたどる、昭和の家族の物語。Instagram投稿をもとに書籍化。

毎日新聞 2024/01/13

2023:9./ 159p  
978-4-910352-75-6

¥2,420 [税込]



### 隆明だもの

ハルノ宵子 著  
晶文社

吉本家は、薄氷を踏むような“家族”だった。戦後思想界の巨人・吉本隆明の長女・ハルノ宵子が、父とのエピソードを軸に家族のことなどを綴る。吉本ばななの「姉妹対談」も収録。「吉本隆明全集」の月報の連載等に加筆。

毎日新聞 2024/01/13、読売新聞 2024/01/21

2023:12./ 293p  
978-4-7949-7383-2

¥1,870 [税込]



### ジャズピアノ～その歴史から聴き方まで～<上>

マイク・モラスキー 著  
岩波書店

ピアノを手掛かりに、外国語文献を駆使して、全く新しい切り口からジャズの歴史をたどる。具体的な聴き処、鑑賞のヒントが満載。上は、「古い」ジャズの魅力から、ビバップ革命、クールジャズの誕生までを描く。

毎日新聞 2024/01/20

2023:10./ 392p  
978-4-00-061612-6

¥4,510 [税込]



### ジャズピアノ～その歴史から聴き方まで～<下>

マイク・モラスキー 著  
岩波書店

ピアノを手掛かりに、外国語文献を駆使して、全く新しい切り口からジャズの歴史をたどる。具体的な聴き処、鑑賞のヒントが満載。下は、ハードバップの展開から現在まで、多彩なピアニスト達のサウンドとともに解説する。

毎日新聞 2024/01/20

2023:11./ 452p  
978-4-00-061613-3

¥5,060 [税込]





### 戦争語彙集

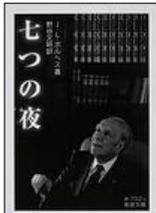
オスタッフ・スリヴィンスキー 著  
岩波書店

ウクライナを代表する詩人が、戦火を逃れてきた避難者の証言を聴き取り、77の単語と物語で構成した文芸ドキュメントを、ロバート キャンベルが翻訳。避難者たちの声をつぶさにたどる、翻訳者による手記も収録する。

毎日新聞 2024/01/20

2023:12./ 286p  
978-4-00-061616-4

¥2,200〔税込〕



### 七つの夜(岩波文庫 赤 792-4)

J.L.ポルヘス 著  
岩波書店

著者が七夜にわたって行った7つの講演－「神曲」「悪夢」「千一夜物語」「仏教」「詩について」「カバラ」「盲目について」。

毎日新聞 2024/01/20

2011:5./ 246p  
978-4-00-327924-3

¥792〔税込〕



### 紫式部本人による現代語訳「紫式部日記」

古川 日出男 著  
新潮社

あなたはいまからわたしの日記をのぞこうとしています。「源氏物語」の作者にして当時最先端を生きた女性の肉声が現代に甦る。一千年の時を繋ぐ魂のトリビュート。『新潮』掲載に書き下ろしの自作解題を加えて単行本化。

毎日新聞 2024/01/20

2023:11./ 157p  
978-4-10-306080-2

¥1,980〔税込〕



### 映画館を再生します。～小倉昭和館、火災から復活までの477日～

樋口 智巳 著  
文藝春秋

2022年8月10日、北九州旦過市場の火災で、83年もの歴史ある映画館・小倉昭和館は全焼した。まちの人たちと、多くの映画人たちに支えられ、2023年12月に再開するまでのドキュメント。

毎日新聞 2024/01/20

2023:11./ 163p  
978-4-16-391780-1

¥1,320〔税込〕



### 翼～李箱作品集～(光文社古典新訳文庫 KA イ 2-1)

李箱 著  
光文社

陽の差さない部屋で怠惰を愛する「僕」は、隣室で妻が「来客」からもらうお金を分け与えられて…。表題作をはじめ、近代化・植民地化に見舞われる朝鮮半島にて新しい文学を求めた孤高の男が綴った小説、詩、随筆等を収録する。

毎日新聞 2024/01/20

2023:11./ 310p  
978-4-334-10129-9

¥1,100〔税込〕





### 街場の米中論

内田 樹 著

東洋経済新報社

拮抗する民主主義と権威主義、疫病と戦争で再強化される国民国家…。希代の思想家がアメリカと中国の「本音」を、比較統治論から読み解く。凱風館寺子屋ゼミでの発言をもとに書籍化。

毎日新聞 2024/01/20

2023:12./ 245p  
978-4-492-44479-5

¥1,760〔税込〕



### 帝国～ロシア・辺境への旅～ 新版

リシャルド・カプシチンスキ 著

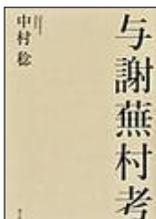
みすず書房

ソ軍侵攻に怯えた幼少の記憶、ソ連時代と崩壊後に駆け歩いたロシア。伝説的ポーランド人ジャーナリストが取り憑かれたように旅した<帝国>の、個人的報告。関口時正の解説を付した新版。

毎日新聞 2024/01/20

2024:1./ 414p  
978-4-622-09671-9

¥4,730〔税込〕



### 与謝蕪村考

中村 稔 著

青土社

冷徹な眼差しを社会的弱者に注いでヒューマニスティックな句を作り、自らの境涯を顧みて悲痛な自画像を描いた与謝蕪村。斬新な視点からその豊穡な世界を解明し、新たな蕪村像を確立する画期的考察。

毎日新聞 2024/01/20

2023:10./ 365p  
978-4-7917-7587-3

¥3,300〔税込〕



### タブレットの書き方

布施琳太郎 著

晶文社

タブレットの書き方を考える第一の理由は、ソーシャルメディアが浸透した社会において「二人であることの孤独」を創出するためである。若きアーティスト・布施琳太郎による SNS 時代の恋愛・制作・人生論。

毎日新聞 2024/01/20

2023:12./ 340p  
978-4-7949-7403-7

¥2,200〔税込〕



### ふるさと再発見の旅<九州 2>

清永 安雄 著

産業編集センター

美しい日本の原風景と、その地で紡がれてきた歴史や物語をオールカラーの写真で紹介する。九州 2 は、熊本、宮崎、鹿児島、沖縄を取り上げる。各県の重要伝統的建造物群保存地区も収録。

毎日新聞 2024/01/20

2023:10./ 197p  
978-4-86311-383-1

¥2,640〔税込〕





### 新約聖書 改訂新版

岩波書店

原典に忠実な翻訳と周到な注釈が新たな読解の可能性を開く「岩波版新約聖書」。歴史的・事象的・神学的事項に関する用語解説、年表・地図付き。共観福音書(マルコ・マタイ・ルカ)を中心に大幅改訂。

毎日新聞 2024/01/27

2023:11./ 1070p  
978-4-00-061600-3

¥8,360〔税込〕



### 風に立つ

柚月裕子 著

中央公論新社

家庭裁判所に送られてきた少年を預かる補導委託の引受を突然申し出た、南部鉄器職人の父・孝雄。父の行動に戸惑う悟。少年と工房で共に働くうち、悟の心にも少しずつ変化が訪れて…。『読売新聞』連載を単行本化。

毎日新聞 2024/01/27

2024:1./ 406p  
978-4-12-005728-1

¥1,980〔税込〕



### イーロン・マスク<上>

ウォルター・アイザックソン 著

文藝春秋

ペイパル(金融決済)、テスラ(電気自動車)、スペース X(宇宙開発)、そしてX…。ときに軋轢を起こすも、テクノロジーで人類を進化させてきたイーロン・マスク。悩める天才の真の姿を赤裸々に描いた公式伝記。

毎日新聞 2024/01/27

2023:9./ 462p,13p  
978-4-16-391730-6

¥2,420〔税込〕



### イーロン・マスク<下>

ウォルター・アイザックソン 著

文藝春秋

ペイパル(金融決済)、テスラ(電気自動車)、スペース X(宇宙開発)、そしてX…。ときに軋轢を起こすも、テクノロジーで人類を進化させてきたイーロン・マスク。悩める天才の真の姿を赤裸々に描いた公式伝記。

毎日新聞 2024/01/27

2023:9./ 449p,10p  
978-4-16-391731-3

¥2,420〔税込〕



### エピタフ～幻の島、ユルリの光跡～

岡田 敦 著

インプレス

根室半島沖に浮かぶユルリ島では、半世紀前に漁師が島を去り、残された家畜の馬が野性化し…。固有の自然を守るために上陸することが厳しく制限され、馬だけが暮らすこの島の風景を、関係者との対話とともに伝える。

毎日新聞 2024/01/27

2023:6./ 240p  
978-4-295-01654-0

¥2,970〔税込〕





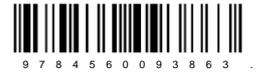
### 中世の写本の隠れた作り手たち〜ヘンリー八世から女世捨て人まで〜

メアリー・ウェルズリー 著  
白水社

写本が語る、中世の人々の人生と心情。テキストの作者から埋もれた本の発見者まで、中世の写本文化を支えてきた有名無名の男女の人生と作品を紹介する。カラー口絵も掲載。

毎日新聞 2024/01/27

2023:12./ 289p,69p 図  
版 24p  
978-4-560-09386-3  
¥5,500〔税込〕



### 空想の補助線〜幾何学、折り紙、ときどき宇宙〜

前川淳 著  
みすず書房

折り紙と数学、パスタの幾何学、宇宙電波観測所…。卓越した折り紙作家・研究者であり、天文台のエンジニアでもある前川淳による、幾何学的着想とユーモアが光る数理エッセイ 18 篇を収録する。『みすず』連載を書籍化。

毎日新聞 2024/01/27

2023:12./ 185p,4p  
978-4-622-09661-0  
¥2,970〔税込〕



### 石母田正〜暗黒のなかで眼をみひらき〜(ミネルヴァ日本評伝選)

磯前 順一 著  
ミネルヴァ書房

日本社会を変革する可能性を歴史の中に探り、戦後の歴史学を牽引した石母田正。彼の著述の背後にある思想やマルクス主義運動との関わりを丹念に読み解き、「革命の歴史家」たるその実像を鮮やかに浮かび上がらせる。

毎日新聞 2024/01/27

2023:8./ 16p,359p,10p  
978-4-623-09519-3  
¥4,180〔税込〕



### 鎌倉の名建築をめぐる旅

内田 青蔵／中島 京子 著  
エクスナレッジ

ホテルニューカマクラ、鶴岡八幡宮、建長寺、鎌倉文学館…。歴史や文化、豊かな自然をもつ鎌倉の近代建築 32 選を多数の写真とともに紹介。直木賞作家・中島京子が鎌倉の街や日本の住まい等について語るコラムや対談も収録。

毎日新聞 2024/01/27

2023:10./ 181p  
978-4-7678-3177-0  
¥1,980〔税込〕



### おろそかにされた死因究明〜検証:特養ホーム「あずみの里」業務上過失致死事件〜

出河 雅彦 著  
同時代社

無実の看護職員はなぜ、起訴されたのか？ 介護施設の職員がおやつを提供し利用者が死亡したとされる事件の捜査と公判の過程をたどり、刑事司法における死因究明の重要性を考える。『朝日新聞デジタル』連載をもとに書籍化。

毎日新聞 2024/01/27

2023:11./ 258p  
978-4-88683-955-8  
¥1,980〔税込〕





## 鬱の本

点減社編集部 編

点減社

鬱のときに読んだ本。憂鬱になると思い出す本。まるで鬱のような本…。84人が、病気の「うつ」、日常にある憂鬱、思春期の頃の鬱屈など、様々な「鬱」のかたちと「本」について綴ったエッセイ集。

毎日新聞 2024/01/27

2023:12./ 195p  
978-4-9912719-3-9

¥1,980 [税込]



## ブルーノの問題

柴田元幸／秋草俊一郎 編

アレクサンダル・ヘモン 著

書肆侃侃房

故郷消失者は、言語の中でのみ生きることができる。たとえどこにしようが、故郷には決していないのだから。現代アメリカ文学を代表する作家アレクサンダル・ヘモンの最初期短篇集。「島」「コイン」など全8篇を収録。

毎日新聞 2024/01/27、産経新聞 2024/01/28

2023:11./ 287p  
978-4-86385-596-0

¥2,970 [税込]

